

2017 年度
事業報告書

image

～ 私たちの未来を創造する ～

公益社団法人 十和田青年会議所



2017 年度
第 61 代理事長
小 関 教 仁

スローガン

image

～ 私たちの未来を創造する ～

基本理念

image は無限大

全ては image することから始まる

この街の未来と私たちが成長する姿を image する
私たちが思い描く、明るく豊かな社会の実現に向けて
創造力を養い、実行する力を身につけよう

基本方針

1. 文化振興事業
2. 青少年育成事業
3. 会員拡大
4. JAYCEE としての資質向上
5. 会員間交流

～ 目 次 ～

• 2017 年度 事業報告	4
• 2017 年度 理事会開催報告	9
• 月別活動報告（1 月～ 12 月）	13
• 諸団体出向一覧表	20
• 公益社団法人 十和田青年会議所 2017 年度組織図	21
• 物故会員名簿	22
• 卒業生挨拶	23
• 挨拶	31
理事長、直前理事長、副理事長、専務理事、委員長、出向理事	

※別紙（予算書）参照

2017年度 事業報告

【庶務】

2017年12月31日現在

1) 《会 員》	正会員	41名	賛助会員	1名	特別会員	190名			
	《役 員》	理事長	1名	直前理事長	1名	副理事長	3名	専務理事	1名
		委員長	3名	出向理事	2名	財政局長	1名	事務局長	1名
		理事総数	13名						

【第9回定時総会】

◎平成29年2月27日（月）、富士屋グランドホールに於いて次の事項を可決した。

《議 案》

第1号議案	2016年度事業報告（案）承認の件
第2号議案	2016年度補正予算（案）承認の件
第3号議案	2016年度収支決算報告（案）承認の件
第4号議案	2017年度監事選任（案）承認の件
第5号議案	2017年度監事報酬（案）承認の件
第6号議案	2017年度理事者（案）承認の件
第7号議案	月岡涼君除名（案）承認の件

【7月臨時総会】

◎平成29年7月14日（金）、十和田富士屋ホテルに於いて次の事項を可決した。

《議 案》

第1号議案	2018年度理事長候補者選任（案）承認の件
-------	-----------------------

【第10回定時総会】

◎平成29年12月15日（金）、サン・ロイヤルとわだに於いて次の事項を可決した。

《議 案》

第1号議案	2018年度基本計画（案）承認の件
第2号議案	2018年度収支予算（案）承認の件

【褒賞選考】

《100%例会出席賞》

栗山 務、千葉 千絵、中野 隆生、似鳥 友理、米内山 和正

《理事長特別賞》

似鳥 友理

《最優秀新人賞》

田中 啓史

《優秀JAYCEE賞》

中野 隆生、米内山 和正

《最優秀委員会賞》

お祭り委員会

《最優秀JAYCEE賞》

栗山 務

2017年度 年間活動報告 (1月1日～12月31日)

月	日	時間	場 所	事業・会議・各種行事	参加者
---	---	----	-----	------------	-----

【LOM】

1	6	19:00	JCルーム	第1回常任理事会	小関・水尻・太田・杉沢・中谷・国分
1	12	19:00	十和田商工会館5F	16・17合同1月定例理事会	小関他15名
1	16	18:30	富士屋グランドホール	1月例会 新年祝賀会	小関他27名、特別会員24名
1	25	19:00	JCルーム	第2回常任理事会	小関・水尻・太田・杉沢・中谷・国分
1	29	10:00	十和田湖畔 休屋	十和田湖冬物語 雪像作り	小関、杉沢、栗山他13名
2	7	19:00	十和田商工会館4F	16・17合同2月定例理事会	小関他14名
2	21	19:00	JCルーム	第3回常任理事会	小関・水尻・太田・杉沢・中谷・国分
2	27	19:00	富士屋グランドホール	2月例会 第9回定時総会	小関他20名
3	7	19:00	十和田商工会館5F	第1回拡大会議	小関他11名
3	7	19:30	十和田商工会館5F	3月定例理事会	小関他11名
3	8	13:00	青森県庁	定期提出書類に係るヒアリング	小関・水尻・国分・力石
3	10	19:00	サン・ロイヤルとわだ	3月例会 会員拡大のための交流事業	小関他16名
3	23	19:00	JCルーム	第4回常任理事会	小関・太田・杉沢・中谷・国分
4	6	19:00	十和田商工会館5F	第2回拡大会議	小関他10名
4	6	19:30	十和田商工会館5F	4月定例理事会	小関他10名
4	23	10:00	十和田市勤労青少年ホーム	4月例会 第1回委員会対抗ソフトバレーボール大会	小関他15名
4	27	19:00	JCルーム	第5回常任理事会	小関・水尻・太田・杉沢・中谷・国分
5	9	19:00	十和田商工会館4F	第3回拡大会議	小関他11名
5	9	19:30	十和田商工会館4F	5月定例理事会	小関他11名
5	14	10:00	十和田市東公民館	5月例会 イメージandチャレンジ!職業体験学習	小関他25名
5	25	19:00	JCルーム	第6回常任理事会	小関・太田・杉沢・中谷・国分
6	5	8:30	みちのく国際ゴルフ倶楽部/吉兆	現役・OB合同ゴルフコンペ並びに交流会	小関他14名、特別会員12名
6	8	18:00	JCルーム	第1回臨時常任理事会	小関・水尻・太田・杉沢・中谷・国分
6	8	19:00	十和田商工会館5F	第4回拡大会議	小関他11名
6	8	19:30	十和田商工会館5F	6月定例理事会	小関他11名
6	11	9:30	十和田市志道館相撲場	6月例会 わんぱく相撲十和田場所	小関他20名
6	27	19:00	JCルーム	第7回常任理事会	小関・水尻・太田・杉沢・中谷・国分
7	11	19:00	十和田商工会館5F	第5回拡大会議	小関他12名
7	11	19:30	十和田商工会館5F	7月定例理事会	小関他12名
7	14	18:30	十和田富士屋ホテル	7月例会 7月臨時総会	小関他29名、特別会員20名
7	25	19:00	JCルーム	第8回常任理事会	小関・水尻・太田・杉沢・中谷・国分
7	30	8:00	両国国技館	第33回わんぱく相撲全国大会	中谷
8	6	7:30	奥入瀬川御幸橋付近/ラム善	8月例会 秋まつりがやって来る! ヤア! ヤア! ヤア! メンバー総会with奥入瀬クリーン作戦	小関他16名
8	8	19:00	十和田商工会館5F	第6回拡大会議	小関他11名
8	8	19:30	十和田商工会館5F	8月定例理事会	小関他11名
8	30	19:00	JCルーム	第9回常任理事会	小関・水尻・太田・杉沢・中谷・国分
9	9	9:00	十和田市役所付近など	9月例会 第47回十和田市秋まつり中日「お祭り広場」プロデュース	小関他29名
9	12	19:00	十和田商工会館4F	第7回拡大会議	小関他10名
9	12	19:30	十和田商工会館4F	9月定例理事会	小関他10名
9	26	19:00	JCルーム	第10回常任理事会	小関・太田・杉沢・中谷・国分
10	20	18:30	市民交流プラザタワーレ/市内飲食店	10月例会 20代30代の交流会 十和田の夜を盛り上げNight!	小関他28名

月	日	時間	場 所	事業・会議・各種行事	参加者
10	25	19:00	十和田商工会館5F	第8回拡大会議	小関他11名
10	25	19:30	十和田商工会館5F	10月定例理事会	小関他11名
11	9	19:00	JCルーム	第11回常任理事会	小関・太田・杉沢・中谷・国分
11	16	19:00	十和田市東公民館	11月例会 JAYCEEとしての資質向上セミナー	小関他21名
11	21	19:00	十和田商工会館5F	第9回拡大会議	小関他11名
11	21	19:30	十和田商工会館5F	11月定例理事会	小関他11名
12	15	17:30	サン・ロイヤルとわだ	12月例会 第10回定時総会	小関他25名、特別会員16名
12	15	18:30	サン・ロイヤルとわだ	2017年度卒業式	小関他30名、特別会員30名
12	18	19:00	JCルーム	第12回常任理事会	小関・水尻・太田・杉沢・中谷・国分
12	26	17:45	JCルーム	第2回臨時常任理事会	小関・太田・杉沢・中谷・国分
12	26	18:30	十和田商工会館5F	12月定例理事会	小関他10名

【日本・地区・ブロック・他LOM】

1	8	16:30	八戸プラザアーバンホール	八戸JC 新年会	小関他9名
1	11	18:00	青森JC会館	青森BC 第1回役員会議	水尻・石川
1	14	18:30	むつグランドホテル	むつJC 新年祝賀会	小関・水尻・国分
1	15	18:00	ホテル青森	青森JC 新年祝賀会	小関・水尻・中谷・国分・栗山・似鳥
1	17	18:00	グリーンパレス松安閣	黒石JC 新年名刺交歓会	小関・水尻・国分
1	20～22		国立京都国際会館	日本JC 京都会議	小関・水尻・中谷・国分
1	26	18:30	きざん三沢	三沢JC 新年会	小関他8名
1	26	18:00	ホテルニューキャッスル	弘前JC 新年祝賀会	杉沢・石川
1	28	9:00	津軽伝承工芸館	青森BC 第1回会員会議所会議並びに役員会議	小関・水尻・石川
1	28	13:00	津軽伝承工芸館	青森BC アカデミー大学開校式並びに第1講座	小関他9名
1	28	15:30	津軽伝承工芸館	青森BC 会員拡大セミナー	小関他8名
1	28	18:00	津軽伝承工芸館	青森BC 2017年度新春名刺交歓会	小関他10名、特別会員2名
1	29	18:00	サンルート五所川原	五所川原JC 新年祝賀会	小関・中谷・国分
2	8	18:00	青森JC会館	青森BC 第2回役員会議	水尻・石川
2	11	13:00	仙台市太白区文化センター	東北DC 東北ゼミナール委員会開講式	小関
2	25	13:00	立佞武多の館	青森BC 第2回会員会議所会議並びに役員会議	小関・水尻
3	4・5	13:00	八戸市福祉公民館	青森BC アカデミー大学第2講座	佐々木・新山
3	18	13:00	三沢市商工会館	青森BC 第3回会員会議所会議並びに役員会議	小関・水尻
3	25	13:00	東京ビックサイト	日本JC 第154回総会並びに2017年度理事長サミット	小関
4	5	18:00	青森JC会館	青森BC 第4回役員会議	水尻・石川
4	13	15:45	青森県庁	青森BC 県知事表敬訪問	小関
4	15	13:00	八戸市公会堂	青森BC 第4回会員会議所会議並びに役員会議	小関・水尻・石川
5	13	16:30	陸中ビル3F オモッセホール	東北DC 未来を切り拓く理事長サミット2017	小関
5	20	9:30	市民交流プラザタワー	青森BC JCI Achieve	小関・国分
5	20・21	12:00	市民交流プラザタワー	青森BC アカデミー大学第3講座	小関・新山他7名
5	27	13:00	下北文化会館	青森BC 第5回会員会議所会議並びに役員会議	小関・石川
5	28	6:00	ゴッサーメモリアルゴルフコース	三沢JC 第26回シニサーオープンチャリティゴルフトーナメント	国分
6	1	18:00	青森JC会館	青森BC 第6回役員会議	水尻・石川
6	6	19:00	青森JC会館	青森BC 第2回臨時役員会議	水尻・石川
6	6	19:00	八戸市公会堂	八戸JC 林修氏講演会	小関

月	日	時間	場 所	事業・会議・各種行事	参加者
6	14	13:00	十和田商工会館5F	青森BC 第6回会員会議所会議並びに役員会議	小関・水尻・石川他10名
6	28	18:00	青森JC会館	青森BC 第7回役員会議	水尻
7	1	9:30	弘前文化センター	青森BC 第7回会員会議所会議並びに役員会議	小関・水尻・石川・国分
7	1・2	13:00	弘前文化センター	青森BC 第47回青森ブロック大会in城下町弘前	小関他12名
7	21	18:00	横浜	東北DC 地区ナイト	小関
7	21・22	12:00	パシフィコ横浜	日本JC サマーコンファレンス2017	小関・水尻・国分
9	2・3	14:00	奥州市文化会館	東北DC 東北青年フォーラムin奥州	小関・水尻・太田・中野・国分
9	6	18:00	青森JC会館	青森BC 第8回役員会議	水尻
9	2・3	14:00	奥州市文化会館	東北DC 東北青年フォーラムin奥州	小関・水尻・太田・中野・国分
9	11	19:00	青森JC会館	青森BC 第4回臨時役員会議	水尻
9	16	13:30	ホテルクラウンパレス青森	青森BC 第8回会員会議所会議並びに役員会議	小関・水尻
9	24	15:00	久慈市文化会館/久慈グランドホテル	久慈JC 創立50周年記念式典並びに祝賀会	小関他5名
9	26	19:00	青森JC会館	青森BC 第5回臨時役員会議	水尻
9	29・30	13:30	大宮ソニックシティ/さいたまスーパーアリーナ	日本JC 第66回全国大会 埼玉中央大会	小関他6名
10	1	9:30	浦和ロイヤルパインズホテル	日本JC 第66回全国大会 埼玉中央大会	小関他6名
10	15	10:00	ブラザホテルむつ	青森BC 若者の経済安定、減災・防災セミナー	小関他14名
10	28	13:00	黒石市産業会館	青森BC 第9回会員会議所会議並びに役員会議	小関・水尻
11	15	18:00	青森JC会館	青森BC 第10回役員会議	水尻
11	25	14:00	八戸市公会堂	青森BC 第10回会員会議所会議並びに役員会議	小関・水尻・石川
11	25	14:00	八戸グランドホテル	青森BC 2017年度卒業式並びに17・18合同大望年会	小関他11名
12	2	15:30	エルティ ウェディング・パーティ エンボリアム	東北DC 卒業式	小関・国分
12	10	15:30	八戸ブラザーバーンホール	八戸JC 卒業式	小関他6名
12	19	18:30	きざん三沢	三沢JC 卒業式	小関他11名
12	26	18:30	ホテルニューキャッスル弘前	弘前JC 清藤洋介君日本JC副会頭就任を祝う会	水尻、特別会員3名

【対外団体】

1	4	17:30	富士屋グランドホール	十和田市新年祝賀会	小関他10名
1	5	11:00	十和田市役所・十和田商工会館	十和田市長・十和田商工会議所会頭表敬訪問	小関・太田・杉沢・中谷・国分・小笠原
1	14	13:00	十和田市民文化センター 第1研修室	構成団体等合同研修会	中谷
1	27	18:00	サン・ロイヤルとわだ	十和田地区・市交通安全協会並びに交通指導隊の合同新年会	太田
1	27	14:00	十和田商工会館	(一社)十和田市観光協会 十和田ウォーク打ち合わせ	杉沢
2	3	17:30	十和田湖畔 休屋	十和田湖冬物語 オープニングセレモニー	小関
2	7	18:00	十和田商工会館・市内飲食店	第29回雪見ラリー	小関他16名
3	2	15:00	市民交流プラザタワーレ	平成28年度第3回奥入瀬渓流エコツアーリズムプロジェクト実行委員会	小関
3	9	10:00	十和田市民文化センター	北里大学学位記授与式	小関
3	14	16:00	十和田富士屋ホテル	(一社)十和田市観光協会第2回理事会	小関
3	22	11:00	十和田商工会館	太素顕彰会役員会	小関
3	24	15:00	十和田交通会館	十和田地区・市交通安全協会合同役員会	国分
3	29	19:00	三沢JC事務局	南部州デザイン会議 第2回会議	小関・中谷・国分
4	6	14:00	十和田市民文化センター	春の交通安全総決起大会	中谷・国分
4	21	19:00	二戸駅 なにゃーと	南部州デザイン会議 第3回会議	小関・水尻・国分
4	22	8:00	官庁街通り周辺	第23回青森県春のクリーン大作戦	小関・国分・中野・似鳥
4	27	13:30	JA十和田おいらせ本店	平成29年度十和田市町内会連合会定例総会	太田

月	日	時間	場 所	事業・会議・各種行事	参加者
4	27	14:00	十和田商工会館	平成29年度道路使用関係イベント会議	小関
4	28	15:00	十和田市民図書館	奥入瀬川クリーン対策協議会 平成29年度総会	国分
5	3	8:30	桜の広場／稲生川周辺	十和田ウォーク	小関他5名
5	4	10:00	太素塚境内	太素祭式典	小関
5	13	13:30	十和田市勤労青少年ホーム	青少年育成十和田市民会議第1回常任・推進委員会 平成29年度定例総会	中谷
5	16	14:00	サン・ロイヤルとわだ	平成29年度十和田市交通安全協会理事会・定時総会	小関
5	16	16:45	サン・ロイヤルとわだ	(一社)十和田市観光協会第1回通常総会	小関
5	23	19:00	久慈市やませ土風館	南部州デザイン会議 第4回会議	小関
5	25	17:00	十和田商工会館	NPO法人十和田国際交流協会 平成29年度通常総会	小関
5	26	14:00	十和田商工会館	平成29年度十和田市中心市街地活性化協議会 第1回総会	小関
5	26	17:30	富士屋グランドホール	平成29年度「表彰式」及び「評議員会」	小関
6	7	18:30	十和田市民図書館	「あおもり10市大祭典in十和田」秋祭り町内会等連絡会議	杉沢
6	19	16:30	富士屋グランドホール	平成29年度十和田地区暴力追放推進協議会総会	国分
6	20	19:00	鹿角市文化の社交館コモッセ	南部州デザイン会議 第5回会議	小関・水尻・中谷・国分
6	24	17:30	十和田市勤労青少年ホーム	「小さな親切」運動十和田支部 平成29年度定期総会	小関
6	28	11:00	十和田商工会館	平成29年度第1回太素顕彰会定期総会	小関
6	28	13:30	十和田市民図書館	奥入瀬川クリーン作戦第2回企画会議	国分
6	29	18:00	十和田市役所 議会会議室	十和田市セーフコミュニティ領域別対策部会全体会議	小関・国分
6	30	15:00	十和田市役所 議会会議室	平成29年度第1回奥入瀬清流エコツーリズムプロジェクト実行委員会	小関
7	5	15:00	十和田交通会館	十和田地区・市交通安全協会合同役員会	小関
7	5	18:00	十和田商工会館・市内飲食店	七夕ラリー	小関・国分
7	18	16:00	十和田商工会館	平成29年度十和田市秋祭り関係者団体打ち合せ会	杉沢・栗山
7	9	6:00	十和田湖周辺	第2回十和田湖マラソン大会	小関他4名
7	26	19:00	十和田商工会館	南部州デザイン会議 第6回会議	小関他7名
8	2~4	10:00	八戸三社大祭 お祭り広場	南部州デザイン会議 南部州ブース出店	小関・水尻・中谷・国分
8	23	18:30	十和田商工会館	平成29年度十和田市秋祭り関係者団体最終打ち合せ会	杉沢・栗山
8	29	19:00	市民交流プラザトワレ	南部州デザイン会議 第7回会議	小関他4名
9	21	14:00	十和田市民文化センター	秋の全国交通安全運動に伴う交通安全総決起大会	中谷・国分
10	8	8:30	十和田市陸上競技場	第22回とわだ駒街道マラソン大会	小関
10	28・29	9:00	八戸長根球場	南部州オータムカップ	水尻・国分・栗山
11	3	9:00	八戸高校グラウンド	南部州オータムカップ(延期分)	水尻
11	17	13:30	十和田市勤労青少年ホーム	青少年育成十和田市民会議第2回常任・推進委員会	小関
12	7	15:30	アートステーション周辺	サンタでトワイライト作戦 in towada'17	小関他5名
12	21	18:30	サン・ロイヤルとわだ	小山田久後援会忘年会	小関
12	21	19:00	八戸市 これ庵	南部州デザイン会議 第24回通常総会	水尻・中谷
12	22	18:00	イーグルボウル／すばげ亭	北里大学生との交流会	中野・カ石

2017年度理事会開催報告

16・17合同1月定例理事会 1月12日(木) 19:00~21:45 十和田商工会館5F大会議室

協議事項

- 1) ホームページやSNS等の公開・管理・更新(案)について
- 2) 第9回定時総会開催(案)について
- 3) 特別会員通信の発行(案)について
- 4) 会員拡大(案)について
- 5) 3月担当例会「上司が変われば働き方が変わる～多様なライフスタイルを尊重した人を活かすマネジメントとは?～」開催(案)について

審議事項

- 1) 第9回定時総会開催(案) 一部承認の件

16・17合同2月定例理事会 2月7日(火) 19:00~23:00 十和田商工会館4F中会議室

協議事項

- 1) ホームページやSNS等の公開・管理・更新(案)について
- 2) 第9回定時総会上程議案(案)について
- 3) 第9回定時総会開催(案)について
- 4) 特別会員通信の作成・発行(案)について
- 5) 会員拡大(案)について
- 6) 3月担当例会 会員拡大のための交流事業開催(案)について
- 7) 5月担当例会 職業体験事業開催(案)について

審議事項

- 1) ホームページやSNS等の公開・管理・更新(案) 承認の件
- 2) 第9回定時総会上程議案(案) 承認の件
- 3) 第9回定時総会開催(案) 承認の件
- 4) 特別会員通信の作成・発行(案) 承認の件
- 5) 3月担当例会 会員拡大のための交流事業開催(案) 承認の件
- 6) 5月担当例会 職業体験事業開催(案) 一部承認の件

2月臨時理事会 2月27日(月) 19:45~19:55 富士屋グランドホール2F 平安の間

協議事項

- 1) 2017年度理事長選任(案)について
- 2) 2017年度組織図(案)について

審議事項

- 1) 2017年度理事長選任(案) 承認の件
- 2) 2017年度組織図(案) 承認の件

3月定例理事会 3月7日(火) 19:30~22:45 十和田商工会館5F大会議室

協議事項

- 1) 会員拡大(案)について
- 2) 5月担当例会 イメージandチャレンジ!職業体験学習開催(案)について
- 3) 9月担当例会 十和田市秋まつり中日「お祭り広場」開催(案)について
- 4) 4月担当例会 第1回委員会対抗ソフトバレーボール大会開催(案)について
- 5) 新年祝賀会収支決算報告書(案)について

審議事項

- 1) 会員拡大(案) 承認の件
- 2) 5月担当例会 イメージandチャレンジ!職業体験学習開催(案) 一部承認の件
- 3) 9月担当例会 十和田市秋まつり中日「お祭り広場」開催(案) 一部承認の件
- 4) 新年祝賀会収支決算報告書(案) 承認の件

4月定例理事会 4月6日(木) 19:30~22:25 十和田商工会館5F大会議室

協議事項

- 1) 5月担当例会 イメージandチャレンジ!職業体験学習開催(案)について
- 2) 4月担当例会 第1回委員会対抗ソフトバレーボール大会開催(案)について
- 3) 6月担当例会 わんぱく相撲開催(案)について
- 4) 第9回定時総会収支決算報告(案)について
- 5) 起田高志さん 仮入会(案)について
- 6) 安西直軌さん 仮入会(案)について
- 7) 田中啓史さん 仮入会(案)について

審議事項

- 1) 5月担当例会 イメージandチャレンジ!職業体験学習開催(案)承認の件
- 2) 4月担当例会 第1回委員会対抗ソフトバレーボール大会開催(案)承認の件
- 3) 第9回定時総会収支決算報告(案)承認の件
- 4) 起田高志さん 仮入会(案)承認の件
- 5) 安西直軌さん 仮入会(案)承認の件
- 6) 田中啓史さん 仮入会(案)承認の件

5月定例理事会 5月9日(火) 19:30~22:50 十和田商工会館4F中会議室

協議事項

- 1) 3月担当例会 会員拡大のための交流事業 収支決算報告(案)について
- 2) 6月担当例会 わんぱく相撲開催(案)について
- 3) 7月担当例会 7月臨時総会開催(案)について
- 4) 選挙管理委員会設置(案)について
- 5) 9月担当例会 十和田市秋まつり中日「お祭り広場」開催(案)について
- 6) 起田高志君 入会(案)について
- 7) 安西直軌君 入会(案)について
- 8) 田中啓史君 入会(案)について
- 9) 小関英賢さん 仮入会(案)について

審議事項

- 1) 3月担当例会 会員拡大のための交流事業 収支決算報告(案)承認の件
- 2) 6月担当例会 わんぱく相撲開催(案)承認の件
- 3) 選挙管理委員会設置(案)承認の件
- 4) 起田高志君 入会(案)承認の件
- 5) 安西直軌君 入会(案)承認の件
- 6) 田中啓史君 入会(案)承認の件
- 7) 小関英賢さん 仮入会(案)承認の件

6月定例理事会 6月8日(木) 19:30~22:20 十和田商工会館5F大会議室

協議事項

- 1) 7月担当例会 7月臨時総会開催(案)について
- 2) 4月担当例会 第1回ソフトバレーボール大会収支決算報告(案)について
- 3) 8月担当例会 奥入瀬クリーン作戦参加(案)について
- 4) 9月担当例会 十和田市秋まつり中日「お祭り広場」開催(案)について
- 5) 小関英賢君 入会(案)について
- 6) 紺野兼如さん 仮入会(案)について

審議事項

- 1) 7月担当例会 7月臨時総会開催(案)承認の件
- 2) 4月担当例会 第1回ソフトバレーボール大会収支決算報告(案)承認の件
- 3) 9月担当例会 十和田市秋まつり中日「お祭り広場」開催(案)一部承認の件
- 4) 小関英賢君 入会(案)承認の件
- 5) 紺野兼如さん 仮入会(案)承認の件

- 7月定例理事会 7月11日(火) 19:30~22:50 十和田商工会館5F大会議室
- 協議事項
- 1) 8月担当例会 秋まつりがやってくるヤァ!ヤァ!ヤァ!メンバー決起会with奥入瀬クリーン作戦(案)について
 - 2) 5月担当例会 職業体験事業収支決算報告(案)について
 - 3) 9月担当例会 十和田市秋まつり中日「お祭り広場」開催(案)について
 - 4) 紺野兼如君 入会(案)について
- 審議事項
- 1) 8月担当例会 秋まつりがやってくる!ヤァ!ヤァ!ヤァ!メンバー決起会with奥入瀬クリーン作戦(案)承認の件
 - 2) 9月担当例会 十和田市秋まつり中日「お祭り広場」開催(案)一部承認の件
 - 3) 紺野兼如君 入会(案)承認の件
- 8月定例理事会 8月8日(火) 19:30~22:30 十和田商工会館5F大会議室
- 協議事項
- 1) 7月担当例会 7月臨時総会収支決算報告(案)について
 - 2) 10月担当例会 20代30代の交流会「十和田の夜をもりあげNight!」開催(案)について
 - 3) 5月担当例会 職業体験事業収支決算報告(案)について
 - 4) 9月担当例会 十和田市秋まつり中日「お祭り広場」プロデュース(案)について
- 審議事項
- 1) 7月担当例会 7月臨時総会収支決算報告(案) 領収書・出納帳データ
 - 2) 5月担当例会 職業体験事業収支決算報告(案) 領収書・出納帳データ
 - 3) 9月担当例会 十和田市秋まつり中日「お祭り広場」プロデュース(案)承認の件
- 9月定例理事会 9月12日(火) 19:30~21:43 十和田商工会館4F中会議室
- 協議事項
- 1) 10月担当例会 地域の方々との交流事業(案)について
 - 2) 11月担当例会 JAYCEEとしての資質向上事業開催(案)について
 - 3) 12月担当例会 第10回定時総会開催(案)について
- 審議事項
- 1) 10月担当例会 地域の方々との交流事業(案)承認の件
- 10月定例理事会 10月25日(水) 19:30~22:40 十和田商工会館5F大会議室
- 協議事項
- 1) 12月担当例会 第10回定時総会開催(案)について
 - 2) 卒業式開催(案)について
 - 3) 8月担当例会 秋まつりがやってくる!ヤァ!ヤァ!ヤァ!With 奥入瀬クリーン作戦報告(案)について
 - 4) 11月担当例会 JAYCEEとしての資質向上事業開催(案)について
 - 5) 事業報告書作成・発行(案)について
 - 6) 褒賞委員会設置(案)について
- 審議事項
- 1) 12月担当例会 第10回定時総会開催(案)一部承認の件
 - 2) 8月担当例会 秋まつりがやってくる!ヤァ!ヤァ!ヤァ!With 奥入瀬クリーン作戦報告(案)承認の件
 - 3) 11月担当例会 JAYCEEとしての資質向上セミナー開催(案)承認の件
 - 4) 褒賞特別委員会設置(案)承認の件

11月定例理事会 11月21日(火) 19:30~23:40 十和田商工会館5F大会議室

協議事項

- 1) わんぱく相撲決算報告(案)について
- 2) 9月担当例会 第47回十和田市秋まつり中日「お祭り広場」をプロデュース収支決算報告書(案)について
- 3) 事業報告書作成・発行(案)について
- 4) 12月担当例会 第10回定時総会開催(案)について
- 5) 卒業式開催(案)について
- 6) 2018年度 スローガン・基本理念・基本方針 理事長所信(案)について
- 7) 2018年度 職務分掌・担当例会(案)について
- 8) 2018年度 組織図(案)について
- 9) 2018年度 収支予算書(案)について
- 10) 2018年度 年間事業計画(案)について
- 11) 2018年度新年祝賀会開催(案)について

審議事項

- 1) わんぱく相撲決算報告(案)承認の件 領収書・出納帳データ
- 2) 9月担当例会 第47回十和田市秋まつり中日「お祭り広場」プロデュース収支決算報告書(案)承認の件
- 3) 事業報告書作成・発行(案)承認の件
- 4) 12月担当例会 第10回定時総会開催(案)承認の件
- 5) 卒業式開催(案)承認の件
- 6) 2018年度 スローガン・基本理念・基本方針 理事長所信(案)承認の件
- 7) 2018年度 職務分掌・担当例会(案)承認の件
- 8) 2018年度 収支予算書(案)承認の件
- 9) 2018年度 年間事業計画(案)承認の件
- 10) 2018年度新年祝賀会開催(案)一部承認の件

12月定例理事会 12月26日(火) 19:30~22:15 十和田商工会館5F大会議室

協議事項

- 1) 10月担当例会 地域の若者との交流事業収支決算報告(案)について
- 2) 会員拡大収支決算報告(案)について
- 3) 12月担当例会 第10回定時総会収支決算報告(案)について
- 4) 卒業式収支決算報告(案)について
- 5) 特別会員通信収支決算報告(案)について
- 6) 11月例会 JAYCEEとしての資質向上セミナー収支決算報告(案)について
- 7) ホームページやSNSの公開・管理・更新収支決算報告(案)について
- 8) 褒賞委員会設置収支決算報告(案)について
- 9) 事業報告書発行収支決算報告(案)について
- 10) 2018年度新年祝賀会開催(案)について

審議事項

- 1) 10月担当例会 地域の若者との交流事業収支決算報告(案)承認の件
- 2) 会員拡大収支決算報告(案)承認の件
- 3) 12月担当例会 第10回定時総会収支決算報告(案)承認の件
- 4) 卒業式収支決算報告(案)承認の件
- 5) 特別会員通信収支決算報告(案)承認の件
- 6) 11月例会 JAYCEEとしての資質向上セミナー収支決算報告(案)承認の件
- 7) ホームページやSNSの公開・管理・更新収支決算報告(案)承認の件
- 8) 褒賞委員会設置収支決算報告(案)承認の件
- 9) 事業報告書発行収支決算報告(案)承認の件
- 10) 2018年度新年祝賀会開催(案)承認の件

月別活動報告

1月

スケジュール

6日	第1回常任理事会
12日	16・17合同1月定例理事会
16日	1月例会 新年祝賀会
25日	第2回常任理事会
29日	十和田湖冬物語 雪像作り

【委員長所見】

2017年新年祝賀会を担当させて頂きましてありがとうございます。

当日は皆さんの力で様々な場面を乗り切ることができました。御礼申し上げます。

ただ、当日皆さんの力で乗り切れたということは、リハーサルがうまくいってなかった時の言い訳であったりします。今回は特にリハーサルの参加率が悪く、理事者も少なかった。理事者は絶対に参加するつもりでやらなければいけません。総務委員会は土台を作る委員会であり、いくら120%の準備をしてもリハーサルがないのであればどんどん減点されていきます。大きな反省点として、事務局ともしっかりと連携すべきでしたが、1月で大変な時期の事務局に負担をかけないようにしたことが裏面にでたところもあります。次年度以降はそういった考え方も含め、理事会でしっかりと協議をしてもらいたと思います。

今年は反省点がメンバーからほぼあがりません。第三者目線に立っても、当日メンバーの動きのおかげで、ここ数年では最高の新年祝賀会にできたと思っております。新年最初の事業を成功させることにより今年の十和田青年会議所運動を担う事業だと思いつつも良い形で事業を成功させたいと思っていました。当日はトラブルなどがありました。メンバー1人1人の機転の利いた行動に助けられ大きなトラブルもなく終える事が出来ました。また、開始から乾杯までの時間の短縮を考えていましたが何とか最短の時間で行うことが出来ました。来賓、特別会員の皆様からも好評を頂き大変良かったと思っております。

最後になりますが、厳しいことを言うと近年先輩方からは本当に厳しい意見があがり、残念なレベルまで落ちていました。今年はなんとかそのレベルを通常まで立て直したという評価を先輩方頂きました。大事なことは来年になります。次に直していくこととしては懇談会中のメンバーの動きとなります。そういったこと全部含め、次年度は今年やったことをしっかりと引き継ぎでもらって、さらに反省点を活かせばもっと最高の新年祝賀会になりますので当該委員長は何卒よろしくお願い致します。

1月例会 新年祝賀会

日時：2017年1月16日(月) 18:30~20:30

場所：富士屋グランドホール

参加員数：正会員29名、特別会員24名、来賓63名、来訪JC47名 合計 163名

担当委員会：総務委員会

【事業目的】

対外目的：正会員各自が、来賓・特別会員・来訪JC及び関係諸団体様に新年のご挨拶を行うことで、地域の皆様と良好な関係を築き、ひいては十和田青年会議所の魅力又は、個人の魅力から会議所の魅力へ繋げる事、伝える事を目的とする。

対内目的：正会員各自が、来賓の方と交流を深め、今後の円滑なJC運動を進める上での良好な関係を築くとともに、理事長そして、十和田青年会議所全体で盛り立てていく事を目的とする。加えて、近年、先輩方から会全体への注意が多くなり、事務局や総務の指導力・準備体制が大きく不足していることが数年続いております。今年度はなんとしてもこの流れを止めるべく、まずは理事者を中心に基本的なことを確実に会員員の資質向上と会員間の結束を強くして、ひいては新年祝賀会を小関理事長の完璧な船出を目的とします。

【事業目的達成の検証】

達成した点：時間通りに開催する事ができ、大きなトラブルもなく時間通り終える事が出来ました。また、歓談の時間を多く設ける事が出来て来賓や関係主団体と交流する事が出来たと思います。

達成しなかった点：歓談の時間を多く設ける事が出来ましたが終了間際メンバーの足が止まっていた。

月別活動報告

2月

スケジュール

7日	16・17合同2月定例理事会
21日	第3回常任理事会
27日	2月例会 第9回定時総会

【委員長所見】

今回の総会の運営、そして結果を見て思った事は十和田は公益法人格を取得してからその年、初めての総会運営に対して内容が大変複雑になってしまいました。今回の総会の内容は2016年事業報告、そして決算報告がありました。2016年度理事者の参加が半数以下でした。自分たちが行った事業に対する事業報告、決算報告を承認する総会の2016年理事者の出席者が少ない結果となってしまいました。2016年度理事者は年が明けてしまうと理事者と言う感覚が薄れてしまう為に2月までの理事会は前年度、今年度の合同理事会を開催するなど理事者としての意識させる工夫等が必要ではないかと思っております。今回の総会は新監事選任と2017年度の理事者を決める総会の為か今年の理事者の出席率が大変高く今年度に向けての意識の高さが伝わってきました。総務委員会の事業でありながらも自身の委員会の出席率が非常に悪く、リハーサルは2017年度事務局に助けられました。ありがとうございます。懇親会にて出席して頂いた特別会員を各テーブルに座って頂き、より良い交流が図れたと思っております。大変複雑な総会ではあり当日、トラブルもありましたが、メンバーのお陰で総会を終える事が出来まして、2016年の締めくくりと2017年度をスタートする事が出来ました。ありがとうございました。

2月例会 第9回定時総会

日時：2017年2月27日(月) 18:30~21:50

場所：富士屋グランドホール

参加員数：正会員22名、特別会員7名 合計29名

担当委員会：総務委員会

【事業目的】

対外目的：無し

対内目的：2016年度を締めくくり2017年度を本格的にスタートします。その為に十和田青年会議所の運営の中核となる理事者、また我々正会員にご指導して頂く監事を選任し円滑なJC運動を進める事を目的とする。

【事業目的達成の検証】

達成した点：2017年度の理事者と監事を選任するにあたって2017年理事候補者の出席率が非常に高かったこと。

達成しなかった点：2016年度を締めくくる為の議案に関して2016年の理事者の出席者が半数以下だったこと。全体の出席率が悪かったこと。

月別活動報告

3月

スケジュール

7日	第1回拡大会議
7日	3月定例理事会
8日	定期提出書類に係るヒアリング
10日	3月例会 会員拡大のための交流事業
23日	第4回常任理事会

3月例会 会員拡大のための交流事業

日 時：2017年3月10日（金）19：00～22：00

場 所：サン・ロイヤルとわだ

参 加 員 数：正会員27名、一般参加者45名 合計72名

担当委員会：拡大交流委員会

【事業目的】

対 外 目 的：2017異業種名刺交換会で参加者と交流を深め、青年会議所に対しての理解を深めてもらうとともに会員拡大へ繋げることを目的とする。

また、少子高齢化対策の一つである男女共同参画社会形成を目的とした特

対 内 目 的：社会貢献を果たす姿を色濃く出し、青年会議所の魅力と会員拡大の機運を高め、オブザーバーに青年会議所の魅力を伝えることで、自身の青年会議所運動に対する意識の向上を目的とする。

【事業目的達成の検証】

達 成 し た 点：本事業開催から3ヶ月以内に3名入会。

多くのオブザーバーと交流を深める事が出来、その後の会員拡大につながった。（3月例会に参加したオブザーバー2名が仮入会）

【委員長所見】

今回の異業種名刺交換会の運営・結果をみて、経営者やリーダーが集いやすい内容の講演会であり、集いし参加者は意識が高く、非常に内容が濃い成果を感じた事業でした。参加者の反応を見ると、アンケート結果は満足度が高い結果となり、十和田青年会議所活動に魅力を感じている方が多く、非常に手応えのある内容となりました。

今回の事業は入会対象年齢以外の方を参加させる事となりましたが、今まで青年会議所と関わりを持たなかった参加者への社会問題に取り組む青年会議所活動を周知する事ができ、これが口コミとなり、その後の入会対象者の入会へつながれば良いと考えます。

また、同日開催イベントへの出席の為に、スケジュールの都合上、参加できないオブザーバーが数多くいたので、今一度集う事ができる企画や事業の開催が必要であると感じています。

今回の事業で、少子高齢化・働き方など社会問題に取り組み、地域貢献を果たす十和田青年会議所活動を色濃く見せ、異業種名刺交換会での新しい出会いの創出する事ができました。新聞メディアに掲載され、評判が口コミとなり、今後の会員拡大へつながる事を期待しています。

4月例会 第1回委員会対抗ソフトバレーボール大会

日 時：2017年4月23日（日）10：00～15：00

場 所：十和田市勤労青少年ホーム

参 加 員 数：正会員18名、オブザーバー4名

担当委員会：事務局

【事業目的】

対 外 目 的：青年会議所を仲間づくりという観点から見て魅力的な団体だと感じていただくため。

対 内 目 的：会員間での親睦を深め、JC運動の活性化を図るため

【事業目的達成の検証】

達 成 し た 点：多くのオブザーバーと交流を深める事が出来、その後1名の会員拡大につながった。

本事業終了から約3週間後に行われた5月例会への参加率が例年よりも高かった。

達成しなかった点：例会・懇親会を通してオブザーバーと積極的に交流させる仕掛けが乏しかった。

メンバーの参加人数が18名と少なかったため、等しく色々なメンバーと親睦を深められる機会を提供出来なかった。

【委員長所見】

当日は皆様のご協力もありスムーズな運営ができ、スポーツ例会という事で懸念されたケガもなく無事に終えることができました。また、多くのオブザーバーの方々にも皆様のお声がけもあり例会・懇親会ともに出席していただき大変感謝いたします。メンバー同士の親睦を図るのはもちろんですが、主に年間を通して意思疎通を図らなければならない委員会メンバーとの絆を深める場になったものと思っております。

ただ残念なのは正会員36名中18名と50%の出席率に留まった事が大きな反省点だと思います。仕事や家庭の事情等理由は様々あると思いますが、欠席で返答があったメンバーにも再度声掛けて誘うなどの対応を積極的に行わなければならないと感じました。

所属しているメンバー個々が楽しいと思えば活動していなければ十和田青年会議所というものに魅力を感じてはもらえないと思います。絆を強固なものにし委員会が事業を実施する際に一つの目的に向かうため、また会員拡大の一翼を担うためにも、このような形の会員間交流事業というものを今後も継続して行ってほしいと思います。

月別活動報告

5月

スケジュール

9日	第3回拡大会議
9日	5月定例理事会
14日	5月例会 イメージandチャレンジ!職業体験学習
25日	第7回常任理事会

5月例会 イメージandチャレンジ!職業体験学習

日 時： 2017年5月14日（日）9：30～14：30

場 所： 十和田市東公民館

参 加 員 数： 正会員26名、小学生54名、保護者50名、外部協力者24名 合計164名

担当委員会： お祭り委員会

【事業目的】

対 外 目 的： 子どもが職業体験で学んだ事を通じて働くことの喜びや仕事への意欲を育む。また、各職業の体験をしてもらい、働く人と直接接すること、知識や技術に触れることを通じて、学ぶこと、働くこと、そして生きることの大切さを感じてもらおう。

対 内 目 的： 職業体験事業を通じ、不特定多数の者の利益の増進に寄与するとともに、地域貢献できることを目標に挙げ、更なる会員の意識や資質の向上、過去の反省を活かし、年々事業のレベルを上げていく事を目的とします。

【事業目的達成の検証】

達 成 し た 点： 参加者は職業体験をする事により大なり小なりの職業に対してのより現実的な意識が持てているように感じました。

子どもたちが希望していた業種以外の体験は子供たちの視野を広げ、実際に体験から、各業種の大変さ、大切さ、やりがいを知って自分に合う業種の選択肢が広がったと体験を通して感じていたようです。以上の結果より事業目的の達成度は高いものと判断します。

【委員長所見】

今年度4回目となる職業体験学習は、3業種を入れ替え計9業種としたことと、子ども達が自分で働き、いただいたお給料で最後に大ホールにて買い物をするというシステムを取り入れました。協力業者様には子ども達の為にとても熱心に体験内容を企画していただき、丁寧なご指導をしていただきました。それに応えるように子ども達一人ひとりも一所懸命に挑戦していく姿勢はとても真剣で輝いて目に映りました。最後に書いて頂いた子ども達の感想文には「将来のイメージがわいてきました」「また夢が増えました」等沢山の嬉しい声が寄せられ、将来に対して大きな希望を持ってもらえた事と感じました。当日は子ども達の笑顔を見て、これまでの苦悩や努力が実を結んだのだと強く感じ、この事業のやりがい、すばらしさを確信いたしました。今回の職業体験学習を通じて子ども達に働く事の大切さ、喜びを感じてもらい、将来に繋がる第一歩となる学びの場を提供することが出来た事に、改めて青少年育成事業の大切さを感じました。地域の将来を担う子ども達が沢山の夢を持って成長していく事を願っています。協力業者様、メンバーの皆様には、多々至らない私に多大なるお力をお貸しいただき、この事業を無事終える事が出来ました事に深く感謝いたします。本当にありがとうございました。

月別活動報告

6月

スケジュール

5日	現役・OB合同ゴルフコンペ並びに交流会
8日	第1回臨時常任理事会
8日	第4回拡大会議
8日	6月定例理事会
11日	6月例会 わんぱく相撲十和田場所
27日	第7回常任理事会

6月例会 わんぱく相撲十和田場所

日 時： 2017年6月11日（日）9：30～12：00

場 所： 十和田市志道館

参 加 員 数： 正会員20名、児童6名

担当委員会： 拡大交流委員会

【事業目的】

対 外 目 的： わんぱく相撲を通し子供達の肉体と精神や感謝する心等を育成する。社会教育の一環として行う。

対 内 目 的： わんぱく相撲に参加する子供達や親、指導者と接しながら社会教育に関する見識を深める。

【事業目的達成の検証】

達 成 し た 点： わんぱく相撲十和田場所、わんぱく相撲全国大会の感想文から、子供達の肉体と精神や感謝する心等を育成するという本事業目的は達成することが出来ました。

達成しなかった点： 十和田場所への参加員数計画が40%と低く目標人数に達しなかったため、多くの児童にわんぱく相撲を通し肉体・精神の育成をすることが出来なかった。

【委員長所見】

本年度は近隣小学校より6名の選手が参加し、少人数での取り組みではありましたがメンバーの皆様のご協力のもと、第33回わんぱく相撲十和田場所を開催することが出来ました。この場をお借りして皆様へ感謝申し上げます。

参加してくれた児童の感想文には、わんぱく相撲で貴重な体験が出来た事、勝者は負けた選手を思いやる気持ち、敗者は大会で負けた悔しさや全国大会へ出場する選手への激励の思い、そして来年度も再挑戦しようという気持ちが綴られておりました。また、十和田場所開催後は志道館での相撲練習にも積極的に通い、全国大会に向けて挑戦していこうとする姿勢は真剣そのものでありました。全国大会出場まで約1ヶ月半という短期間にもかかわらず、我々メンバーや指導者に対しての挨拶や土俵際の礼儀が身に付き、対面する度に体格にも変化が見られ、日に日に心も身体もたくましくなっていく姿を目の当たりにすることが出来ました。わんぱく相撲を通し、青少年の健全育成が出来たのではないかと感じております。

月別活動報告

7月

スケジュール

11日	第5回拡大会議
11日	7月定例理事会
14日	7月例会 7月臨時総会
25日	第8回常任理事会
30日	第33回わんぱく相撲全国大会

7月例会 7月臨時総会

日 時：2017年7月14日(金) 18:30~21:40
場 所：十和田富士屋ホテル
参 加 員 数：正会員30名、特別会員20名 合計50名
担当委員会：総務委員会

【事業目的】

対 外 目 的：次年度理事長候補者の志を表明する場を設けることにより、2018年度も引き続き特別会員の皆様にご指導・ご支援を頂く事を目的とする。
対 内 目 的：2018年度の理事長を選任するにあたり、次年度の青年会議所の方向性を決める重要案件について、全正会員各自が責任をもった決議をし100%例会を目的とする。

【事業目的達成の検証】

達 成 し た 点：例年に比べて高い出席率であった。そして委任状の提出率も高かった。また想定したタイムスケジュールとは大きな狂いがなく時間通りに総会、懇親会を終える事ができ、リハーサル・バッチ伝達もスムーズに終える事が出来た。

達成しなかった点：100%例会を達成する事が出来なかった。

【委員長所見】

毎年この時期に開催される臨時総会にて次年度理事長候補者を選任します。今年の臨時総会はなんとしても特別会員の先輩方に関心を持って頂きたいと考え昨年とは少々流れを変えてみました。更に今回、立候補者があった場合は案内文に名前を記載するという方法で、より特別会員の先輩方に関心を強めるよう試みました。またメンバーの出席率を高める為に開催時間を昨年より30分遅くすると同時にセレモニーやバッチ伝達のリハーサルの時間を長くする事が出来ました。そのため本番では非常に緊張感がありスムーズに進行された総会になったと先輩方から好評を頂きまして大変うれしく思います。何より今までリハーサルの出席率が悪かったのに対して今回メンバー案内文にリハーサルの時刻を記載した事によってリハーサルの参加率も非常に高く良かったです。流れを変えた事は大きな不安が多々ありましたが結果的に先輩方そしてメンバーから褒めて頂く事ができ大きな達成感を味わう事が出来ました。忘れずこの流れを次年度に引継いでいきたいと思っております。ありがとうございました。

月別活動報告

8月

スケジュール

6日	8月例会 秋まつりがやって来る！ヤァ！ヤァ！ヤァ！ メンバー決起会with奥入瀬クリーン作戦
8日	6月定例理事会
8日	6月例会 わんぱく相撲十和田場所
30日	第7回常任理事会

8月例会 秋まつりがやって来る！ヤァ！ヤァ！ヤァ！

メンバー決起会with奥入瀬クリーン作戦

日 時：2017年8月6日(日) 8:30~14:50
場 所：奥入瀬川御幸橋付近/ラム善
参 加 員 数：正会員17名、オブザーバー1名、メンバー家族6名
担当委員会：事務局

【事業目的】

対 外 目 的：無し
対 内 目 的：青年会議所運動を円滑に行うため。また、十和田市秋まつり中日運営へ向けた会員間の士気を高めるため。

【事業目的達成の検証】

達 成 し た 点：アトラクションで盛り上がり、9月例会へ向けてメンバーの士気が向上した。また、翌月の例会は、予定がある中でも少しでも顔を上げてくれたメンバーがいた。

達成しなかった点：決起会という事で実施したが、参加率が41%と少なかった。

【委員長所見】

奥入瀬川クリーン作戦に参加してからの例会ということで、皆様には朝早くからお集まりいただきありがとうございました。クリーン作戦参加後、河川敷パーベキューではなく、会場を移動してラム善屋外での例会・懇親会としたことで、今まで以上に会員間の親睦が深まったものと感じます。ただ残念なのは、やはり参加率の低さなので、メンバーが参加したいと思えるや設えが不足していたと反省しております。近年の十和田青年会議所を構成するメンバーはJC歴や経験の浅いメンバーが多くなってきております。メンバー全員が同じ方向を向いて進み、活気あふれる組織を作るためにも、次年度以降もこのような会員間交流事業を継続して行い、横のつながりを強固なものにしていただきたいと思っております。

月別活動報告

9月

スケジュール

9日	9月例会 第47回十和田市秋まつり中日「お祭り広場」プロデュース
12日	第7回拡大会議
12日	9月定例理事会
26日	第10回常任理事会

9月例会 第47回十和田市秋まつり中日「お祭り広場」プロデュース

日 時： 2017年9月9日（土）9：00～20：30
場 所： 十和田市官庁街通り・十和田市相撲場など
参 加 員 数： 正会員30名、市民・観光客 11万5千人
担当委員会： お祭り委員会

【事業目的】

対 外 目 的： 『十和田市秋まつり』という場を使って地域の人が集まる場を作り、十和田の文化芸術の素晴らしさに触れる機会を作る事です。文化芸術に触れる場として『十和田囃子競演会』を開催し、伝統文化である『十和田囃子』の素晴らしさを広く伝える場とします。

対 内 目 的： 十和田市秋まつり中日「お祭り広場」に携わり、地域の文化・人にふれ、メンバーがこの町の未来をイメージする事。そして開催日と開催に至るまでの過程において、一人一人のスキル向上と、協力し合い一致団結することによってL O Mメンバーの意識の共有を図り、より強固なL O Mとなることを目的とします。

【事業目的達成の検証】

達 成 し た 点： アンケート結果において参加者が十和田市に対する愛着心が出来たという回答が8割近くであった。

達成しなかった点： 十和田囃子競演会が雨天中止になったのもあり、雨天対策に課題を残す結果となった。また、山車運行に対してもマンネリ化など魅せ方に関する満足度があまり得られなかった。

【委員長所見】

今年度十和田市秋まつり中日「お祭り広場」の運営に携わり、非常に多くの事を学ばせていただきました。競演会は相撲場の屋根がなくなった事と突然の雷雨により中止となってしまい、この日の為に練習してきた参加団体の子供達の事を思うと非常に残念でした。晴天の状態からいきなりの雷雨で進行に対する不安と準備不足の部分など多々ありましたが、その後天気回復とメンバーの皆様のご協力により無事残りの運営は大きな事故もなく終えることが出来ました。4月の有識者会議から各種会議を通じて多くの関係団体からも多大なるご協力を頂きました。目的は全部達成する事は出来ませんでした。この事業を通じてメンバー、各協力団体、多くの人と同じ思いを共有出来たことに達成感を感じました。皆様のご協力のおかげです。本当にありがとうございました。

月別活動報告

10月

スケジュール

20日	10月例会 20代30代の交流会 十和田の夜を盛り上げNight！
25日	第8回拡大会議
25日	10月定例理事会

10月例会 20代30代の交流会 十和田の夜を盛り上げNight！

日 時： 2017年10月20日（金）18:30～21:00
場 所： 市民交流プラザタワーレ、市内飲食店
参 加 員 数： 正会員25名、オブザーバー43名
担当委員会： 拡大交流委員会

【事業目的】

対 外 目 的： 異業種間での新しい出会いを創出し、参加される多くの同世代である地域の方々と会話を行い交流を深めて頂く事で、友情作りのきっかけ、地域の混在する社会問題を解決するきっかけとする。

対 内 目 的： 同じ地域同世代の多くの方と交流を深め、様々な情報交換を行い、地域の問題解決の一步に繋げる。また今後の会員拡大を強化するために青年会議所のPRや新規入会候補者リストの拡充を図る。

【事業目的達成の検証】

達 成 し た 点： 無し

達成しなかった点： 参加人数68名（当日キャンセル2名・当日参加3名）と目標の80名には及ばなかった。
年度末までに仮入会者3名の獲得ができなかった。
事業参加した入会対象者は5名と少なかった。

【委員長所見】

20代30代の参加者。交流会会場店舗の経営者も20代30代であり、この世代で新しい出会いと交流を深める事ができ、とても有意義な事業となりました。参加者からのアンケートから「十和田青年会議所の入会に興味がある」といった回答や、「イベントなどの事業があったら参加したい」など好意的な意見が多かった。今後の青年会議所運動の参考にさせていただきたいと思えます。また、少子高齢化、人口減少が進む現代において、交流の場を作り、地域の盛り上げにつながるような事業は大変、有意義な事であると感じましたので、次年度以降も継続的な開催をしてもらいたいと思えます。最後に、この事業に携わった全ての方へ申し上げます、新しい出会いと交流が、今後の皆様の人生においてプラスとなり、この地域にある問題点の解決につながる第1歩になれば幸いです。また十和田の夜を盛り上げましょう！楽しい夜をありがとうございました。

月別活動報告

11月

スケジュール

9日	第11回常任理事会
16日	11月例会 JAYCEEとしての資質向上セミナー
21日	第9回拡大会議
21日	11月定例理事会

11月例会 JAYCEEとしての資質向上セミナー

日 時：2017年度11月16日（木）18：30～20：20

場 所：十和田市東公民館

参加員数：正会員22名

担当委員会：事務局

【事業目的】

対 外 目 的：無し

対 内 目 的：十和田青年会議所メンバーが、JAYCEEとしての資質向上や意識変革を図り、地域を牽引するリーダーとなることを目指すため。

【事業目的達成の検証】

達 成 し た 点：アンケートによりセミナーが有用であるとの回答が86%得た懇親会、二次会にも講師を務められた先輩方が参加していただいたおかげで、親睦を深めることができた。

達成しなかった点：より多くの参加者を募るために19：00開始としたが、52%の出席率と、少なかった。

【委員長所見】

今回は特別会員の小川秀樹先輩を講師として実施し、十和田JCの先輩方とご自身のこれまで取り組んできた事業や熱意を聞くことで、経歴の長いメンバーはもちろんのこと、経歴の浅いメンバーの心に響く熱いセミナーとなったと思います。

また、講師の発案により、立会人として佐藤百年先輩・田中健太郎先輩が来て頂いたことにより、セミナー・懇親会を含め、特別会員の先輩方と密度の濃い懇親を深めることができる場にもなったと思います。

ただ、残念なのは53%という低い出席率であったと思います。より多くのメンバーを動員するためには一人ひとりへの声掛けの他にできることは無いのか、これは全ての事業について回る問題点だと思いますので、今後も引き続き考えていかなければならないと思います。

12月例会 第10回定時総会

日 時：2017年12月15日（金）17：30～18：20

場 所：サン・ロイヤルとわだ

参加員数：正会員22名、特別会員16名

担当委員会：総務委員会

【事業目的】

対 外 目 的：無し

対 内 目 的：2018年度の基本計画、年間事業計画、収支予算書を決議し次年度に向けての一步を踏み出す事を目的とする。

【事業目的達成の検証】

達 成 し た 点：卒業生を中心としたセレモニーのリハーサルを行う事が出来た。

達成しなかった点：2018年度理事予定者の出席が100%を達成する事が出来なかった。

【委員長所見】

今年度最後の定時総会務めさせて頂きましてありがとうございます。今回のセレモニーに関して言えば一人一人壇上に上げるのではなくブロック方式で担当メンバーを全員壇上に上げる事にしました。2月の総会7月の臨時総会に於いては一人ずつ上がっていただきましたが、卒業式の絡みもありまして今年度、卒業生にセレモニーを担当してもらった方が総会自体が面白くなると思いました。卒業生が壇上にいる姿は非常に良かったです。また本総会にて2018年度の基本計画、予算がきまりました。今回の総会もより良い緊張感で総会を終える事が出来ました。ありがとうございました。

2017年度卒業式

日 時：2017年12月15日（金）18：30～20：00

場 所：サン・ロイヤルとわだ

参加員数：正会員31名、特別会員39名、来訪JC28名

担当委員会：総務委員会

【事業目的】

対 外 目 的：卒業生と所縁ある方々と共に、巣立ち行く卒業生の歩みを知り、新たな門出を祝福して頂くため。

対 内 目 的：公益社団法人十和田青年会議所にて、これまで長年支えあい励ましあってきた卒業される正会員の皆様の晴れの門出を祝福し、輝かしい未来へと送り出す。

月別活動報告

12月

スケジュール

15	12月例会 第10回定時総会
15	2017年度卒業式
18	第12回常任理事会
26	第2回臨時常任理事会
26	12月定例理事会

【事業目的達成の検証】

達成した点：タイムスケジュール、委員会の役割などほぼ出来たと思っております。卒業生の写真を当日配布して10名分の紹介等を割愛する事によってタイムスケジュールを調整する事が出来ました。

達成しなかった点：演出に関して言えば会場側とのリハーサルが不十分だった為に暗くなる場所で暗くならなかったり音楽が低かったりこちらがイメージしていた演出にはならなかった。

【委員長所見】

今年度10名の卒業生を抱える卒業式になりました。初めての会場やタイムスケジュールなど協議の段階で多くの心配が予想されました。特に昨年の卒業式が特別会員の先輩方に注意を受けるなど大きな課題、心配が最初から降りかかっていました。在籍が1年間から20年間という多様な卒業生の中には近年、十和田青年会議所の運動に対して中心となっていたメンバーがいた為に、多くの特別会員の出席がよそうされ、結果的には師走の週末の忙しい時期にもかかわらず、39名の特別会員の出席があり議案の審議が通った後でもたくさんの苦勞がありました。タイムスケジュールの再構成、演出など今年度総務委員会の最後の事業は非常に難航しました。事業当日は卒業式のタイムスケジュールが遅れることなく進行していき時間内には終える事が出来ました。会場等の都合により22時には退出が必要になってしまいましたが事業に関して特に大きな問題点はなかったと思っております。メンバーの皆様、1月早々に始まった新年祝賀会から12月の卒業式までお付き合いして頂きまして誠にありがとうございました。1年間大変お世話になりました。

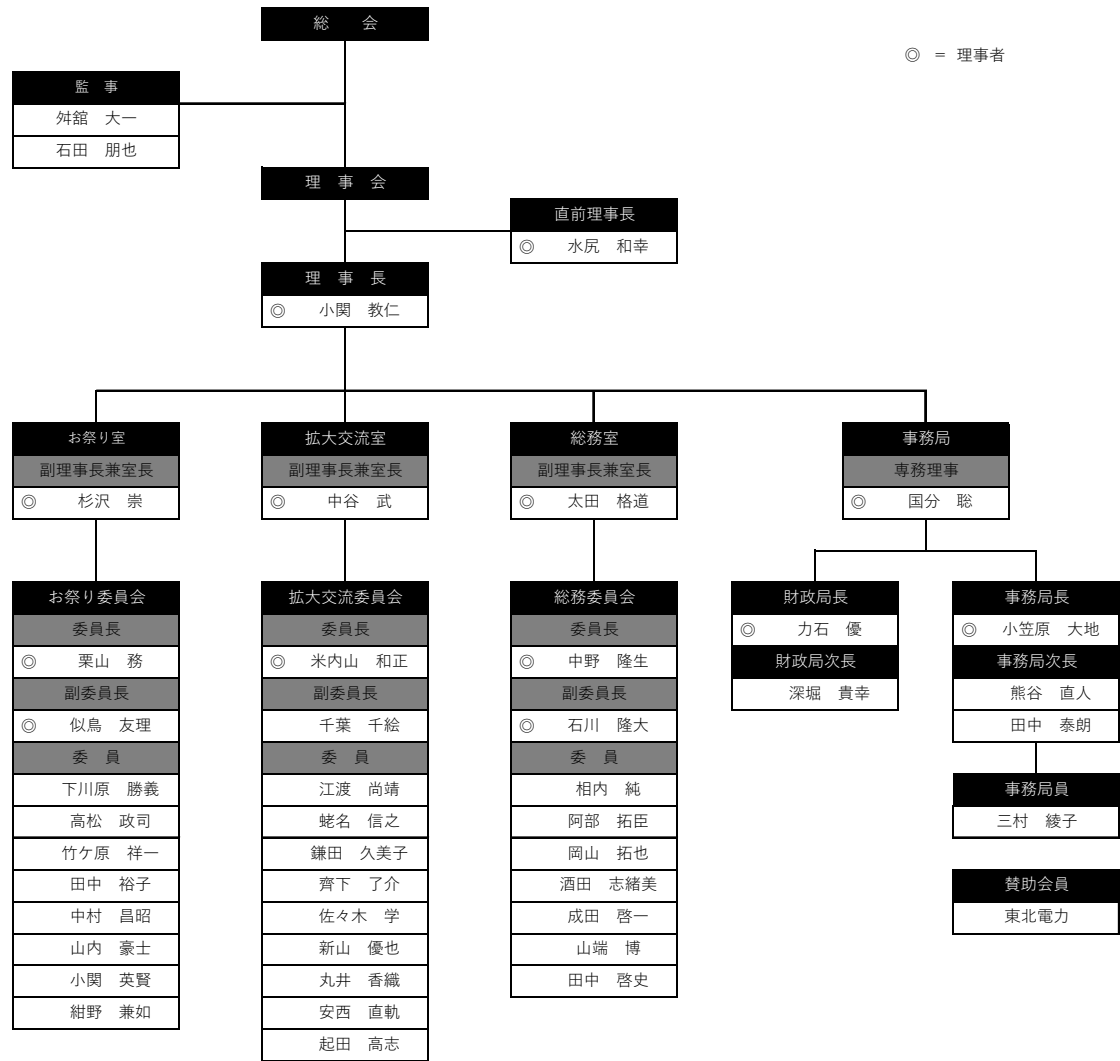
諸 団 体 出 向 一 覧 表

(順不同)

所 属 し て い る 諸 団 体	役 職
(一社)十和田市観光協会	常 任 理 事
奥入瀬川クリーン対策協議会	理 事
十和田地区(市)交通安全協会	役 員
太素顕彰会	役 員
青少年育成十和田市民会議	推 進 委 員
十和田市生涯学習推進会議	委 員
十和田国際交流協会	会 員
「小さな親切」運動十和田支部	賛 助 会 員
十和田市明るい選挙推進協議会	委 員
十和田市生活環境保全審議会	委 員
十和田市青少年育成協議会	委 員
十和田市中心市街地活性化協議会	役 員
十和田ふるさと資源活用実行委員会	委 員
十和田市セーフコミュニティ策定部会	会 員
十和田市生涯健康作り推進協議会	委 員

2017.12.31 現在

公益社団法人十和田青年会議所 2017年度 組織図



本会出向	
デフレ完全脱却実現会議	
委員	◎ 石川 隆大
東北地区出向	
東北ゼミナール委員会	
委員	◎ 太田 格道
東北青年フォーラム運営委員会	
委員	相内 純
青森ブロック出向	
創発LOM推進委員会	
副会長	◎ 水尻 和幸
副委員長	◎ 似鳥 友理
委員	◎ 米内山 和正
創発社会推進委員会	
委員	深堀 貴幸

青森ブロック出向	
創発地域推進委員会	
委員長	◎ 石川 隆大
運営幹事	田中 泰朗
委員	岡山 拓也
青森デザイン推進委員会	
委員	下川原 勝義
総務委員会	
委員	阿部 拓臣
アカデミー大学	
塾生	佐々木 学
塾生	高松 政司
塾生	竹ヶ原 祥一
塾生	新山 優也

南部州デザイン会議	
J C運動発信委員会	
評議員	◎ 小関 教仁
副議長	◎ 水尻 和幸
理事	◎ 中谷 武
理事	◎ 国分 聡

物 故 会 員 名 簿

氏 名	生 年 月 日	物 故	勤 務 先	備 考
田 中 和 宏	昭和16年 3月19日	昭和50年11月28日	十和田タクシー(株)	
高 橋 康 男	昭和 9年10月27日	昭和53年 2月21日	高橋うどん店	第14代理事長
岩 間 迪 明	昭和16年 9月12日	昭和54年11月 3日	(株)岩間印刷所	第20代理事長
三 浦 明	昭和 9年 6月13日	昭和58年 1月23日	(株)ツタヤ工業	第13代理事長
伊 藤 文 雄	昭和10年 2月13日	平成 2年 3月26日	むら福菓子点	第15代理事長
村 木 邦 夫	大正11年 9月16日	平成 3年 8月30日	村木薬品(株)	初 代 理 事 長
石 川 敏	大正12年12月15日	平成 7年10月 9日	石川不動産管理(株)	第2・3代理事長
益 川 昌 彦	昭和 7年10月24日	平成 7年10月 9日	益川商事(株)	第9・10代理事長
佐々木 孝 志	昭和17年 8月 6日	平成13年 6月12日	ネノコウジ	
浅 原 善 康	昭和 3年12月16日	平成14年 2月 1日	浅原歯科医院	
向中野 由 吉	昭和14年12月11日	平成14年 4月 2日	(株)三本木タクシー	第22代理事長
小山田 芳 朗	昭和14年 3月 1日	平成15年 3月 5日		
安 藤 博 通	大正13年 2月25日	平成16年 5月24日	安藤産婦人科	第5・6代理事長
杉 本 圏 一	昭和17年 9月 9日	平成17年 3月 8日	(有)モードショップとーわ	
稲 本 重 二	昭和21年10月13日	平成17年 9月23日		
稲 本 純 一	昭和11年 5月26日	平成18年 3月15日	稲本商事(株)	第12代理事長
秋 元 雄 一	昭和21年10月 7日	平成20年 3月27日		
中川原 誠 三	昭和26年12月29日	平成20年 9月13日		
藤 森 剛	昭和17年 9月24日	平成21年 3月14日		第21代理事長
苫米地 伸 泰	昭和36年 7月26日	平成22年12月24日	トマベチ(株)	
大 友 英 治	昭和 9年 8月31日	平成24年 3月10日	大友陶器店	
小笠原 重 二	昭和23年 5月 5日	平成25年 9年16日	(有)小笠原国雄商店	
気 田 正 太	昭和49年 2月25日	平成26年 1月10日	日商(株)	
平 野 良 三	昭和21年 2月 4日	平成26年11月 4日		第28代理事長
深 瀬 新 二 郎	昭和 3年12月10日	平成26年12月26日	深瀬商会	第7代理事長
似 鳥 広 恭	昭和29年11月 7日	平成27年1月13日	(有)ニタドリ	第38代理事長
松 橋 正 義	昭和11年 4月 3日	平成29年2月24日	松橋(株)	

蛸 名 信 之



卒業にあたり

2012年に入会し、お祭り委員会に配属され、翌年には交流委員長を拝命いたしました。最初のうちは何とか頑張れましたが、社業の忙しさもあり、委員長の職を全うできずに一年を終えてしまいました。今思えば、私一人だけが苦勞している錯覚に陥ったせいもあるかもしれません。仲間の支えがあってこそこのJC活動。そのことに早く気づいていればもう少し違ったJCライフを送れたのではないかと後悔している次第です。現役の皆様、これからも苦しいことの方が多いかもかもしれませんが、その中でしか得られない楽しさもあります。卒業までに必ずそれを見つけて下さい。

短い間でしたが大変お世話になりました。

経 歴

平成 24 年	6 月入会 お祭り委員会委員
平成 25 年	交流委員会委員長 青森 BC アカデミー大学塾生
平成 26 年	交流委員会委員
平成 27 年	青少年育成委員会委員
平成 28 年	拡大交流委員会委員
平成 29 年	拡大交流委員会委員

杉 沢 崇



卒業にあたり

平成 21 年 3 月から休会を挟みましたが 8 年の JC ライフでした。一番初めは、知り合いを作りたいと入会したのがきっかけで、最初は JC を真面目にやりすぎて仕事の時間を潰したくはないとアンチ JC を気取っていましたが、少し関わってくると楽しくて自然に足を運んでいた記憶があります。

そんな中でも、会社と家庭を疎かにせずにそれでも JC 活動をきちんとやれる範囲はこなす、といった具合に自分ルールを決めてはいました。結果は会社の方も入会してから一度も落ちることなく微小なりにですが上向きに成長し続けました。そしてプライベートにおいても先輩のおかげで結婚でき、家庭も出来る限りはこなしながら JC 活動をしてきた・・・はず？（笑）

最後に JC の為に私がしてやれる事は、今後も会社を成長させてプライベートも充実させ、笑顔で JC 入って良かったよといい続けるようにしていこうかと！
太田次年度 来年頑張れ！

経 歴

平成 21 年	3 月入会 お祭り委員会委員
平成 22 年	社会開発委員会委員長 青森 BC アカデミー大学塾生
平成 23 年	総務委員会委員長 東北 DC 東北ゼミナール委員会委員
平成 24 年	会員開発委員会委員長 東北 DC 災害復興特別委員会委員
平成 25 年	財政局局長
平成 26 年	総務委員会副理事長兼室長 東北 DC 総務委員会委員
平成 27 年	休会
平成 28 年	60 周年記念委員会副委員長 東北 DC 総務委員会委員
平成 29 年	お祭り委員会副理事長兼室長

鎌 田 久美子



卒業にあたり

今を去ること 20 年前、どんな団体か理解もせず、ただ進められるがままに入会したこの十和田青年会議所。今思い返せばそれが私の人生最大の転機でありました。

入会したての頃は右も左も分からずで、一番近い年齢差でも四歳。大先輩たちの中でもまれながら正直理解するまでに三年はかかりました。

しかし、年月が経過していくと同時に J C で学ぶ事の大切さと、同時に同志が増えていく事の楽しさを感じていきました。

また、女性であるがゆえに結婚、出産という過程では、どうしても一時 J C から離れざるをえない事もありました。

そんなこんなで結果 20 年というこれまでの人生の半分を J C と共に歩んできましたが、時には辛く、悔しくて眠れなかった日も。またある時には共に歓喜する仲間がいる事に幸せを感じ、達成感で涙する事も。

今改めて振り返りますと、様々な経験と友情、その全てが今の自分自身を形成する基盤になっていたと感じております。もし J C に入会していなければ、きっとつまらない人生を送っていたような気がします。

そしてこの先、私の人生はまだまだ続いて行く訳ですが、これまでの経験と出会いがきっと私の道しるべになってくれると信じています。

私が J C で学んだことのひとつに、人が成長するには、必ず修練という困難な道を諦めずに最後まで歩き続けなければならないという事です。

そして一人で難しければ、一緒に歩いてくれる同志をみつけばよいという事も。楽な道の先には決して何も残りはしません。

現役の皆様には是非困難な道を選択して頂いて、自分自身を信じ、信頼できる仲間と共に成長して卒業して頂きたいです。

最後になりますが、これまで関わった全ての皆様に感謝申し上げます。

経 歴

平成 10 年	1 月入会 広報情報委員会委員
平成 11 年	広報ネットワーク委員会委員
平成 12 年	総務渉外委員会委員 青森 BC アカデミー大学塾生
平成 13 年	広報情報委員会副委員長 青森 BC 渉外情報委員会委員
平成 14 年	人間力創造委員会副委員長
平成 15 年	拡大委員会委員 青森 BC 総務情報委員会委員
平成 16 年	誇りある地域創造委員会委員長
平成 17 年	交流委員会委員
平成 18 年	交流委員会委員
平成 19 年	お祭り委員会委員 青森 BC 事務局次長
平成 20 年	総務委員会副委員長
平成 21 年	特命委員会委員長
平成 22 年	会員開発委員会委員 青森 BC 総務情報委員会幹事
平成 23 年	総務委員会委員 青森 BC 総務委員会委員長
平成 24 年	会員創造委員会室長
平成 25 年	お祭り委員会委員
平成 26 年	事務局次長 青森 BC 総務兼財務局次長
平成 27 年	地域連携委員会委員 青森 BC 青森ブランド創造委員会委員
平成 28 年	事務局長
平成 29 年	拡大交流委員会委員

栗 山 務



卒業にあたり

2015年4月に入会以来、長くなく短い二年八か月のJCライフでしたが思い起こせばそんな短い感じもせず充実した時間だったと思います。

私が入会した2015年は拡大が不成功し、ゴールデンゴングを獲得した年だったのでたくさんの同期がいました。その同期、27会の懇親会はとても楽しかったです。

委員会ではその全部がお祭り委員会というお祭りに捧げたJCライフでした。1年目は小関委員長のもと競演会を担当し、宮内先輩の協力のもと連日夜遅くまで資料作成したりしていました。思えばあの時の時間が無ければ、今のJCでの自分はいなかったのではないかと思うくらい様々な事を教導して頂きました。自身も抱える事業があるにも関わらず、本当に色々助けてもらいました。2年目は60周年記念委員会とも同じ室で太田副理事長、中野お祭り委員長、宮内60周年委員長のもと職業体験、60周年記念事業、秋まつりと三つの事業を並行で進めていました。この室のメンバーからは自分自身多くの影響を受けました。今でも戦友でありそして家族のような存在だと勝手に思っています。そして3年目は杉沢副理事長のもとお祭り委員長をやらせていただきました。これまでの2年は無駄じゃなかったと思える最高の一年でした。初の委員長で自分がやらなければという気負いだけが先走り疲れたなと思ったとき、周りには力を貸してくれる多くのメンバー、そしてOBの方がいました。そのおかげでなんとか務めることが出来たと思います。

三年間助けられればなしで、一生分の感謝を使いきってしまったのではないかと思います。

十和田青年会議所とそのメンバーは私に多くの良き出会いと最高の仲間、そして多くの学びと喜びを与えてくれました。これまで関わったすべての皆様に心より感謝申し上げます。またJCというきっかけをくれた会社に感謝し、いつも送り出してくれた家族、仲間感謝し、何事にも積極的に取り組みご恩少しずつ返していきたいと思えます。

本当にありがとうございました。

現役メンバーのさらなる活躍を心よりお祈り申し上げます。

経 歴

平成 27 年	4 月入会 お祭り委員会委員
平成 28 年	お祭り委員会副委員長 青森 BC アカデミー大学塾生
平成 29 年	お祭り委員会委員長

佐々木 学



経 歴

平成 28 年 12 月入会
総務委員会委員
平成 29 年 拡大交流委員会委員
青森 BC アカデミー大学塾生

卒業にあたり

会社員時代に独立を考えその準備としてセミナーや名刺交換会など回っておりました。

その中の一つで 1955 という交流会に参加したことが J C との最初の出会いでした。

(勝手に) 名刺交換会だからと少しビジネスモード的に参加したら意外と緩い飲み会で驚きましたが、私自身ネットワークを広げたいという目的があったために、一般参加者とはあまり話さずにその場の担当をされていた白濱道義さんと話し、そこで J C という団体を初めて知り興味を持ちました。

それからは数回ですが例会にオブザーバーとして参加しました。興味のあるイベントへはちよくちよく参加していたのですが、当時勤めていた会社での勤務時間の関係でなかなか J C 入会へは踏ん切りがつかずずっと断っていましたが、独立したタイミングで更にお声がけいただき入会を決意しました。

入会期間は 1 年間ととても短いうえで仕事の関係で全く参加できない月もありました。それでも新年祝賀会から始まり、アカデミー大学や所属した拡大交流委員会としての異業種名刺交換会、わんぱく相撲、定例会への参加等で仕事では味わえない経験と刺激をいただきました。

入会まではとても長い期間を要した割には入会期間 1 年という短い間で、正直、個人的にはあまり成長はできていないと思います。実際は入会年数の長さよりもいかに当事者意識を持って活動できるかの方が大事だったと当たり前のことですが今ではそう思いますし、複数年は入会しておくべきだったと今更ながら後悔しております。卒業後は J C の O B としての関係になりますが、利他の精神をもち続け、他人に影響を与えられるような存在になり、いままでのご恩を何らかの形でお返し出来たらと思います。

今後とも宜しくお願いいたします。

中 村 昌 昭



卒業にあたり

多くの人に支えられ、多くの人に迷惑をかけ、何とか卒業することが出来ました。今は何とも言えない寂しさと何にもできなかった自分に後悔の気持ちでいっぱいです。

ですが、数え切れないほどの経験と感動と味わったことのない緊張を頂きました。

私は、地域貢献の楽しさを知りました。

JC って素晴らしい

最後になりますが、皆様のご健康そしてご多幸を祈願いたしまして、お礼の挨拶とさせていただきます。

経 歴

平成 25 年	8 月入会 お祭り委員会委員
平成 26 年	交流委員会副委員長 青森 BC アカデミー大学塾生
平成 27 年	地域連携委員会副委員長 青森 BC 輝く未来創造委員会委員
平成 28 年	60 周年記念委員会副委員長 青森 BC 総務委員会委員
平成 29 年	お祭り委員会委員

新 山 優 也



卒業にあたり

入会してわずか 1 年半という短い期間でしたが、大変お世話になりました。私は東北町からの入会でしたが、メンバーの皆さんにはあたたかく迎えられ大変感謝しています。この短い期間でしたので例会等、なかなか参加もできず大変ご迷惑をお掛けしました。正直を申しますと、参加回数も少なかったため青年会議所とはどういったものなのかが 100% 分からないままでの卒業となってしまいました。ですが、60 周年という記念すべき年に入会でき、こうしてたくさんのメンバーの皆さんや先輩方と知り合えた事がこの先にも繋がる事だと思っています。

拡大交流委員会に入り、わんぱく相撲、パークゴルフ、ボウリング、そして『十和田の夜を盛り上げ Night!』という拡大事業はとても楽しく運営できました。オブザーバーの参加が少なかったという事もありましたが、私の声掛け等が少なかったんだと反省しております。

JC とは関係ない事かもしれませんが、私には高校 1 年の双子の息子がいます。2 人に常に言っている事は、とにかく毎日、笑っていよう！と。新山家家訓は『一日一笑』です。一日最低一回は家族みんなで笑って過ごそうという事で私が家族に言っていることです。『笑いのない日ほど無駄な一日はない』と思いますので。

話がズレましたが、JC での活動は皆さんの笑顔がたくさん見る事ができました。卒業後はなかなか皆さんの笑顔に会う機会も少なくなると思うと少し淋しい気がします。

まとまりのない文章になってしまいましたが、この 1 年半で学んだ事を活かして今後も自分が成長していければと思います。短い間でしたが本当にありがとうございました。

経 歴

平成 28 年	5 月入会 拡大交流委員会委員
平成 29 年	拡大交流委員会委員 青森 BC アカデミー大学塾生

中 谷 武



卒業にあたり

2002年4月に入会し、15年8ヶ月間お世話になった十和田JCを卒業するにあたり、清々しく晴れやかな気分を満たされております。長年のJC呪縛から解放されたからでもなく、議案書・理事会のストレスが無くなるからでもありません。充実したJCライフを満喫し、やり切った感で悔いが無いからだと思じています。(きっと)

思い返してみますと、私が入会するきっかけは仕事関係の先輩から異業種交流会があるから来てみない？と誘われるがまま例会にオブザーブ参加し、その後の二次会で訳も分からずバッチ伝達をされ、流れ流され入会することになりました。入会当時は県外から戻り家業に入って間もなく、知り合いもそれほど多くない状況だったので委員会や例会に参加しては先輩に誘われる懇親会が楽しみだった記憶があります。ところが、そんな責任の無い楽しいJCライフは数年で変わりました。やはりここは修練の場！次から次へと役職を受けることになり、気付けば理事長以外の役職をほぼ経験させていただきました。

慣れてきた頃からブロック出向を希望していましたが、なかなかその機会は与えられず、ようやく平委員でブロック出向の流れに乗り、楽しもうと思っていたところ2014年度にブロック大会担当委員長を任命されました。ブロック大会開催の忙しい1年ではありましたがブロック役員会議・会員会議所会議はロムとはまた雰囲気が違うため、非常に素晴らしく貴重な経験をさせていただきました。副会長・委員会メンバーに支えられながら「第44回青森ブロック大会 in 十和田」を無事に開催することが出来た時、ロムでは味わえない達成感を強く感じました。久しぶりの委員長職を全うし、やっぱり委員長っていいなーと感じた年でした。まだブロック出向をしたことが無いメンバーはぜひ進んでブロックに出向されること、そして委員長経験がないメンバーも是非委員長という役職を経験して欲しいと思います。後悔しないよう、失敗を恐れず新しい世界に自ら進んで挑戦してみてください。何もしないことが一番の失敗と言いますが、せっかく入会したJCですのでやれるうちにやらないと「理事長やりたかったなあ。。。」ということになりますよ！（おそらく）

40年生きてきてこれだけ長期間、団体組織に在籍したことはありません。パソコンの使い方、会議の進め方、組織運営、事業計画から事業報告、マナー、遊び方、お酒の飲み方、〇〇のやり方、〇〇の…等、全てが入会していなければ得られないことばかりで素晴らしい学びの場でありました。卒業してからもこの地域のために、出来る限り尽力して参りたいと思います。(多分)

一期一会

人との出会いは大きな財産となり自己の成長に欠かすことが出来ない素晴らしいものですし、これからも成長し続けていけるよう次のステージを目指します。入会して出会えた全ての皆様に感謝を申し上げ、卒業の挨拶とさせていただきます。

今まで本当に有難う御座いました。

経 歴

平成 14 年	5月入会 総務財務委員会委員
平成 15 年	魅力人間創造委員会委員 青森BC アカデミー大学 塾生
平成 16 年	人間力開発委員会副委員長
平成 17 年	広報委員会委員長
平成 18 年	新駒委員会委員長
平成 19 年	お祭り委員会副委員長
平成 20 年	お祭り委員会委員長
平成 21 年	拡大委員会副委員長 東北DC 東北ゼミナール 委員会委員
平成 22 年	社会開発委員会室長
平成 23 年	交流委員会室長
平成 24 年	お祭り委員会副理事長兼室長 青森BC 新東北復興特別 委員会委員
平成 25 年	専務理事
平成 26 年	ブロック大会実行委員会室長 青森BC ブロック大会構 築委員会委員長
平成 27 年	地域交流室副理事長兼室長
平成 28 年	事務局次長 青森BC アカデミー大学 総括幹事
平成 29 年	拡大交流委員会副理事長兼 室長

水 尻 和 幸



卒業にあたり

経 歴

平成 23 年	4 月入会 交流委員会委員
平成 24 年	お祭り委員会副委員長 青森 BC アカデミー大学塾生
平成 25 年	お祭り委員会委員長
平成 26 年	交流委員会委員長
平成 27 年	運営委員会副理事長兼室長 日本 JC 全国大会運営会議委員
平成 28 年	理事長
平成 29 年	直前理事長 青森 BC 創発 LOM 推進委員会担当副会長

2011 年の 4 月に入会し、6 年 8 か月という長かったような短かったような日々を過ごさせていただきました。これまで様々な経験をし、いろいろな方々と出会うことができましたことにこの場をお借りしてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

私が入会するきっかけとなったのは東日本大震災でした。入会直後に被災地釜石市での復興支援活動に参加させていただきました。一瞬にして街をのみこんでしまった巨大津波の破壊力と街の悲惨な光景に悲しみと絶望感でいっぱいになりました。しかしこのような状況であっても地震発生直後から「このままではいけない、助けなければいけない」と、東北、日本、そして世界各地からボランティアの方々が被災地へ向かう姿に勇気づけられました。そして何よりも甚大な被害を受けた被災者の方々の「前に進もう」とする姿に感動させられました。私もこの「前に進もう」という様々な方々の思いに刺激を受け、自分も前に進み、人、地域の為に頑張っていこうと決意しました。その後、その思いが JC 活動を重ねる度に強くなり、数々の役職、担いをいただき、二度とない経験とチャンスを頂くことができました。そしてメンバー、先輩、家族、など様々な方々からのエールを頂き十和田青年会議所創立 60 周年という記念の年に「感謝と絆 ～思いやりで彩る魅力あふれる人と街へ～」というスローガンのもと第 60 代の理事長を務めさせて頂くことができました。そして創立 60 周年記念事業 戦場カメラマン渡部陽一氏「感謝 あたりまえの幸せ」という特別記念講演を開催させていただきましたが、とても心に強く感じさせていただいたものがあります。私達は長い人生において、当たり前前の物事、生活、そして大切な人を何の前触れも無く突然失ってから、初めてそのありがたさに気付くことがあると思いますが、不満を言えるほど幸せな環境の中にいること、そして少し視線を変えただけで見える景色が変わるかもしれないことを大切なあたりまえを失う前に気付いていかなければならないと思いました。私たちは現代社会においていつもたくさんの幸せに囲まれ、そして小さくても幸せは自分の心の中にあると思っております。私は手と手をつないでいけば、悲しみも憎しみも喜びもきっと誰かと分かち合っていけると信じています。いろいろな人に支えられて自分の命・生きる・そしてあたりまえの幸せはあるんだと思いました。これからも私はあたりまえの幸せを未来の人達にも感じてもらえるよう感謝の心と絆の大切さを胸に抱き頑張っていこうと思いました。

青年会議所には、「奉仕・修練・友情」という三信条があります。たくさんの活動の機会から、出会い、経験、学びが多くあり、自分の価値観を変え、過去と他人を変えることはできませんが、自分と未来を変えることができる大変素晴らしい団体であると思っております。明るい豊かな社会を築く為に、地域の大人として、社会を支える青年経済人として、英知と勇気と情熱をもって、感謝と絆、利他の精神、優しさと思いやりの心で、愛しい子供達とこの街の為にあかりを灯し、未来への明るい道を今後の JC メンバーが熱い思いを持って築いていけるよう先輩になってもバックアップしていきたいと思っておりますので今後ともどうぞよろしく申し上げます。本当に素晴らしい時間をありがとうございました。

山内 豪 士



経 歴

平成 27 年	7 月入会 お祭り委員会委員
平成 28 年	お祭り委員会委員会 副委員長 青森 BC アカデミー大学塾生
平成 29 年	お祭り委員会委員

卒業にあたり

2015 年の入会から沢山のメンバーに支えられ、大切な時間をメンバーと一緒に過ごし、苦しさ、楽しさ、人との関りの大切さなど沢山の事を学びました。気づけばもう卒業なんですね。実感がわきません。正直、まだ卒業したくない気持ちです。

思い返せば、入会前は知人から「大変だから止めた方が良い」「飲み会が多いから大変だ」など止められる事が多く自分でも疑心暗鬼になった時期もありました。しかし、2015 年の職業体験事業の見学で私の心は決まりました。メンバー全員が 1 つの目標に向かって頑張っている姿、子ども達へ向き合っている姿、地域への想い。こんな団体だったらもっと早く入会していれば良かったと思います。初年度は、お祭り委員会でした。最初は何をやれば良いのか、どうすれば効率的に担当をこなすかばかり考え、自分の事で精一杯でした。しかし、他のメンバーは、責任を持ち、周りを気遣っていました。私もこんな大人でありたいと思ってから変化が訪れました。2016 年、初めて見学し、感動した職業体験学習の担当になりました。最初は夢と期待が膨らみ様々なことを考えました。しかし、初めて見る議案書を前に自分の想いが文章に出来ず悩み、他のメンバーに迷惑をかけたくないという勝手な思い込みからどんどん苦しくなっていました。事業を投げ出したくなった時、先輩メンバーから「頑張った失敗は失敗ではない。むしろその失敗が自分を成長させるんだ」という言葉をもらい目頭が熱くなりました。事業当日になり、昨年見た光景が私の目に映りました。無事に事業が終わり、メンバーの前で私は今までの苦労と安土感、最後までやり切って良かったという気持ちとメンバー全員への感謝から思わず泣いてしまいました。私はこれが JC なんだと思いました。

今でも私の心の中には先輩方が教えてくれた沢山の言葉や熱い想いが深く残っています。現役メンバーの皆さん、これから苦しい事、歯がゆい事、泣きたい事、楽しい事など沢山出てくると思います。いっぱい笑って、いっぱい泣いて、いっぱい JC してください。

最後になりますが、十和田青年会議所の諸先輩方はじめ、現役メンバーの皆様、今まで多大なる力を貸して頂き本当にありがとうございました。大変お世話になりました。



一年を振り返って

第 61 代理事長 小 関 教 仁

2017 年度、当会議所は「image～私たちの未来を創造する」のスローガンを掲げ、「image は無限大、全ては image することから始まる、この街の未来と私たちが成長する姿を想像する、私たちが想い描く明るく豊かな社会の実現に向けて、想像力を養い実行する力を身につけよう」という基本理念のもと、運動を展開して参りました。

当会議所は 2016 年度に 60 周年を迎え、2017 年度は次なる節目に向けての新たな一步を踏み出す一年でございました。2013 年、当会議所は公益社団法人格を取得いたしました。2013 年度～2016 年度まで、不慣れた公益社団法人格に悪戦苦闘しながらも、新たな事業の展開や会員拡大、ブロック大会運営や 60 周年等々、がむしゃらに駆け抜けた 4 年間であったと思います。私は 2016 年度、専務理事を務めましたが、60 周年を終えて感じたことは、メンバーがどこか少し息切れしているように感じ、2017 年度はいろんな意味で組織の立て直しが必要だと感じました。そこで 2017 年度は「image」というスローガンを掲げながらも、地に足をつけ自分たちを見つめ直し、基本的な部分を確認しながら力を蓄えようという意図のもと、組織図や年間事業計画を構築いたしました。正直、自分のやりたいことや考えはございましたが、次なる 2018 年度や当会議所の未来を考え、2017 年度の常任理事予定者と共に話し合いを何度もし、この決断をいたしました。年が明け、1 月例会の新年祝賀会、2 月例会定時総会、7 月例会臨時総会、12 月例会定時総会、卒業式と、中野総務委員長を中心に総務委員会に想いのこもった設えをしていただき、同時にメリハリのあるしつかりとした新年祝賀会や総会を行うことが出来ました。現在、当会議所メンバーの在籍平均年数が低下している中、入会歴がまだ浅いメンバーにも総会や新年祝賀会の重要性と必要性を理解していただくことも出来たと思っております。拡大交流委員会では、3 月例会は地域交流と会員拡大を目的とした、これからの社会に必要なと言われております「イクボス」セミナーを開催し、45 名の一般参加者と共に、今後の各企業の労働体制の考え方について大きな学びを得ることが出来たと同時に、会員拡大にも大きく繋がる事業となりました。6 月例会は「わんぱく相撲十和田場所」を開催し多くのメンバーが見守る中、小学生たちの熱い戦いが繰り広げられ、見ている私たちも熱くさせられました。参加した子供たちが相撲大会と言う緊張感溢れる中で、日々の練習の成果を発揮する難しさや、スポーツマン精神を学ぶ良い機会になったと思います。10 月例会では当会議所の地域交流系事業としましては、定番になりつつある、「屋台村 1955 パーティー」を参考にした、「十和田の夜を盛り上げ night」を開催し、多くの若者と語り、ご協力いただいた飲食店も大いに盛り上がり、一般参加者の満足度も 93%という高い数字を弾き出し、地域交流事業の新たな可能性も感じる事が出来ました。しかし年間の会員拡大に関しましては 2017 年度卒業生 10 名と同じ 10 名の拡大を目標に努めて参りましたが、半分の 5 名入会に留まり 2018 年度へ課題が残る結果となってしまいました。お祭り委員会では、5 月例会に毎年恒例となりました、青少年育成事業「職業体験事業」を 2017 年度も開催いたしました。子供たちが普段体験することのできない様々な職業を体験することによって、仕事の楽しみや新しい発見をし感性を養ってほしい、そして将来の夢探しのお手伝いとなればという想いを込めて、メンバー一丸となり素晴らしい職業体験事業になったと思います。9 月例会は当会議所のメイン事業となります、十和田市秋まつり中日「お祭り広場」を開催いたしました。この日の為に一年間、栗山お祭り委員長を中心に各種団体とたくさんの会議を経て、万全の準備をしてきたつもりでございますが、オープニングセレモニーでまさかの大ゲリラ豪雨に見舞われ、雨は 30 分弱で過ぎ去り天候は回復しましたが、十和田離子競演会会場が雨の影響で中止せざる得ない状況となり、苦渋の決断でしたが中止といたしました。会場や太鼓、参加する子供達がずぶ濡れのままでは、最高のパフォーマンスを発揮できませんし、怪我や風邪に繋がる心配も大いにございました。しかし、競演会が中止となった分、各参加団体様の力が余っていたからか分かりませんが、薄暮運行、夜間運行共に今までにないくらいの盛り上がりを見せ、本部前喧嘩太鼓におきましては盛り上がり最高潮となり、県内外より訪れたお客様に中日「お祭り広場」の魅力を大いにアピールし、楽しんでいただくことが出来たと思っております。2017 年度は事務局開催となりました 4 月例会と 8 月例会では、会員間の交流を深めるために会員間交流事業を行いスポーツ大会や BBQ 等でメンバー間の団結力を高め、11 月例会では当会議所 OB でございます小川秀樹先輩を講師にお招きして、JAYCEE の資質向上セミナーを開催いたしました。小川先輩の熱い想いに触れながら、当会議所の歴史を学び、メンバーが JAYCEE として 2018 年度へ向けて新たな気概持つ良い機会になったと思っております。2017 年度は例会の参加率も意識しておりましたが、例年に比べて例会への参加率は高かったと感じております。まずはメンバーの皆様へ例会や各委員会へ少しでも多く足を運んでいただきたい、そして JC の楽しさを知ってほしいという思いで 1 年間理事長職を務めて参りました。たった 1 年の会議所運動では正直、微々たるものですが、これを継続することが何より大事だと私は考えます。次なる節目となる 65 周年へ向けて 2018 年度も 61 年間連綿と受け継がれてきた熱き魂と十和田青年会議所運動を絶やすことなく、益々、当会議所が発展して参りますことを心よりご祈念申し上げます。



直前理事長そして 青森 BC 副会長としての一年間

直前理事長 水尻和幸

2017年度は LOM としては直前理事長、そして青森ブロック協議会では創発 LOM 推進委員会担当副会長として活動させていただきました。ラストイヤーということで泣いても笑っても最後の一年を最後の日まで悔い無く全うしようと自分なりに頑張りました。直前理事長はやはり理事長という役職に比べれば皆の前で挨拶することが極端に少なくなり、緊張感が少しなくなってしまったことがありましたが、いつ挨拶を振られてもいいよう常に心の準備はしておりました。結果的に実際の挨拶はあまりうまく喋れませんでした。常に言いたいこと、想いを自分の心の中でまとめておく準備を余裕を持つてするということと、失敗を恐れないという度胸は少しつきましたので、今まで挨拶というたくさん修練の機会をいただいた青年会議所には感謝しております。

2017年度青森ブロック協議会担当副会長という役職を頂いた創発 LOM 推進委員会では県内の会員の拡大、資質の向上という大きな担いを頂き、むつ JC の道川委員長他県内各地のメンバーと共に元気に楽しく活動させていただきました。近年会員は減少傾向にあり、このまま会員減少が続くと、運動も縮小していくことになり、地域にとっては大損失になります。会員拡大を成功させる為には、発想力と行動力を創発し、そして価値を創造する人材の育成と組織力強化を継続的にやっていかなければなりません。今後今まで以上に自己啓発に努め、多くの仲間を巻き込み、それぞれの地域に対して運動を伝播していく必要があるということに改めて考えさせられました。

最後の最後までいろいろな修練をいただいた青年会議所の全てに感謝しております。今後は JC 以外でもこの経験と知識を活かし、地域の為、子供達の為、そして現役メンバーが夢を持っておもいきり活動できるよう頑張っていきたいと思えます。一年間本当にありがとうございました。



一年を振り返って

副理事長兼拡大交流室室長 中谷 武

本年度は現役最後の年ということで、小関理事長に気を遣っていただき、拡大交流委員会担当副理事長という役職を与えてもらい1年間活動して参りました。拡大交流委員会委員長は、私から指名する事もなく自発的に手を挙げてくれた米内山和正君に担ってもらいました。

2017年度は10名が卒業する年であった為「会員拡大13名」を年間目標に掲げ、毎月定例理事会前には30分間の拡大会議を開催し、千葉副委員長から各委員会の副委員長へ拡大状況の確認を毎月行うなど計画段階で拡大のイメージをし、いざスタート！3月担当例会として開催した「2017異業種名刺交歓会」では、今までの名刺交換会とは一線を画した特別講演会を設け、NPO法人ファザリングジャパン代表理事 安藤哲也氏を講師としてお招きし「少子高齢化時代に対応する働き方・マネジメントについて」をテーマとした講演会を同時開催することにより、多数の参加者や入会対象者27名をお招きし交流することが出来ました。また、イクメン・イクボスについての知識・理解を深めることも出来ましたし、3月例会参加者より4名の入会があったことは大変嬉しかったです。10月担当例会では「20代30代の交流会 十和田の夜を盛り上げNight!」と題した地域交流イベントを開催し、多数の参加者にお集まりいただきこちらも大盛況に終えることが出来ました。地域に対しての活動発信が出来たことや、何より20代30代同士の交流の場を提供出来た有意義な事業になったと思えます。

しかし、2015年度で効果絶大であったミニ異業種交流会を定期的に開催することが出来なかつたり、委員会として対象者への訪問や積極的な声掛けを行うことが疎かになり、会全体の会員拡大意識を高揚するまでに至らなかったのが非常に残念でした。結果として、目標の13名入会を大きく下回り5名の会員拡大に留まってしまったことが副理事長として無念であります。米内山委員長は新しいことを創造するチャレンジ精神が豊富ですので、次年度でも会員拡大を中心に各種事業で活躍してくれることを期待しております。

そして、拡大交流委員会のもう一つの大きな担当事業としてわんぱく相撲がありました。こちらは千葉千絵副委員長が担当となり進めて行くことになりました。わんぱく相撲十和田場所開催にあたり、青森県相撲連盟上十三支部長である櫻田一雅様に挨拶に伺ったところ、練習場に来ている子供たちが居ないという状況を聞き不安なスタートではありましたが、近隣の小学校へ案内をかけたところ参加児童が6名集まり無事開催することが出来ました。全国大会への引率は今回で3回目となりましたが、両国国技館の土俵の上で成長した子供たちが取り組む姿を見ると毎回感動を覚えます。この感動的な場面に自分一人だけで引率二度目の相撲部屋宿泊を体験、そして感動を分かち合うことが出来なかったことについて、米内山委員長はもちろん誰のことも全く恨んでおりませんw。。。わんぱく相撲を初めて担当した千葉副委員長は週に何度も志道館へ通い子供たちの練習風景を見学しながら保護者や指導者の方と交流し、十和田場所にはメンバーに声掛けを熱心に行い多数のメンバーを集めて開催することが出来ました。全国大会終了後も志道館に通い、最後の最後まで子供たちに向き合っていた姿は素晴らしかったです。その明るいキャラクターで周囲を巻き込みながら来年度以降も活躍してくれることを期待しています。

そして、委員会メンバーの安西君・江渡君・蛭名君・起田君・鎌田君・小関(英)君・佐々木君・齋下君・新山君・丸井君、皆さんの協力があった2017年の活動を無事終えることが出来たことに感謝致します。メンバーの皆様、1年間本当に有難う御座いました。



1 年を振り返り

副理事長兼お祭り室室長 杉 沢 崇

まずは、この場をお借りして小関理事長 1 年間お疲れ様でした！

同級生でもある小関君が理事長をやると言って次年度の立候補の推薦者のサインをした時から最後まで副理事長という立場で理事長と一緒に頑張ろうとは決めており、厳しい意見は多々言いましたが嫌いだったと言う訳ではなく、空気を読まずに自分が必要だと思った事ははっきりと物申しただけ！・・・かな？（笑）

さて、副理事長という立場を受けた時自分言い聞かせたことは、

1 に、自分の意見を言うのではなく委員長の意見を尊重して難しくともそのゴールに向けてある程度の道筋に関しては色々案を出して誘導していく。

2 に、委員長や委員メンバーに特に運営や JC 独自のルールの知識では教えていく立場なので、知識的には負けてはいけない。

3 に、辛い時こそ先頭に立ち、率先して損を取る。

4 に、事業や対外事にはなるべく参加する。

という具合でしたが、実際にはあまり実行できずに終わってしまいました。

副理事長に関しての率直な感想ですが、実働は委員長よりかなり少ないものの他人の意見の上に乗らなければならない、それ故に一番難しかったです。「委員長が一番面白いよ」という先輩の言葉を思い出します。そして今まで背中を見せてくれた先輩が如何に見えない所で苦労したかが今更ながら分かりました。

最後に、委員長が優秀で最初からかなりレベルが高く指導する事の無い栗山君でしたし、委員会メンバーにもかなり恵まれており、お祭りでの雨のトラブル以外は無事に有終の美を飾ることが出来ましたが、後は委員会後のちゅんちゅんがなかなかでき無かった事だけが悔やまれます・・・お疲れさん会では皆を返さないけどね！（笑）



一年を振り返って

副理事長兼総務室室長 太 田 格 道

総務室副理事長を引き受けるにあたり年初から気を引き締めないといけない状況にありました。ここ数年、新年祝賀会や総会の設え等について先輩からご指導やご指摘を受ける場面が増えていたからです。私含め、理事者が設えに対し大切な部分を軽く考えてしまっていたのかもしれませんが、公益法人格を取得してからの時間の使い方はまだ慣れていなかった面もあり、結果、準備に時間を使えていなかったのかもしれませんが。言い訳はどうあっても、特に新年祝賀会は今年一年十和田青年会議所の、そして当該理事長の印象になるといっても過言でもありませんから、まず始めの目標は先輩方や来賓の皆様、来訪 JC の皆様に対する十和田青年会議所のイメージを回復させることにして進めて行きました。

総務委員会は理事長、十和田青年会議所の顔です。私自身、1 年間理事長やメンバーに恥をかかせまいという気持ちがありましたし、また中野総務委員長もそういったことをわかっていてくれたので、私が指示するまでもなく 1 年間走り続けてくれました。

中野委員長の委員会運営には目を見張るものがありました。まずは新年祝賀会ではミスらしいミスが 1 つもなく、また乾杯までの時間配分も大きく変更し、毎年ご意見をいただく部分にメスをいれ、開始 30 分以内の乾杯を御来賓に失礼の無い形で達成いたしました。先輩や来賓の方は純粋に祝賀会を楽しんで頂けたのではないかと感じます。これがとても大切です。何かマイナスのことで気になると、大切な理事長所信などが頭に入りづらくなるからです。それから、総会、例会、理事会の設えも専務の支えになりながらやりきり、7 月臨時総会もたくさんの先輩方を迎えながらも、厳しいお言葉がなく会員がたくさんの先輩方に対し良い緊張感を持たせた総会ができました。原稿を書いている時点では 12 月の総会の前ですがきっと滞りなく進んでいくと思います。それくらい中野委員長の資料がしっかりしているし、リハも準備も万全な状態です。

総務委員会は仕事を分かち合いやすい委員会です。できる範囲以上の中で委員の皆さんが頑張ってくれました。時間調整の学びも 1 年間でできたと考えます。総務委員会はやって当たり前、目立たないけれど土台を支える委員会。土台がしっかりしていなければどんな例会をやっても評価されません。だからこそ、根を支える能力が大きく成長する大切な委員会です。そして、次年度にしっかりと引き継いでこそその達成です。決算も最後まで気を引き締めて邁進してまいります。



専務理事としての 一年を振り返って

専務理事 国 分 聡

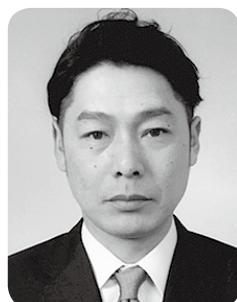
小関理事長のもと、2017年度の専務理事として一年間しっかりとその務めを全うすることが出来ました。…と、自信満々にこの振り返り原稿を上げる予定で専務職に挑んだ一年でしたが、やはり年初に目標としていた半分もその職務を達成できなかったなという悔しさと反省ばかりが残る一年でした。本年度は「メンバーに信頼される専務」を自身の目標に掲げ、渉外・理事会・例会などの運営面はスマートに、事業や各種大会の動員面は泥臭く、を実行していくつもりでした。もちろん専務職の重さやその仕事量から激務になるであろうことは覚悟して臨みましたが、振り返ってみると、目の前の仕事に追われるばかりで、年初に掲げた目標を達成できないまま一年が経っていました。しかし、どこかで出来ない言い訳を探している弱い自分もいたのも事実です。こうして時に流され、時に押しつぶされながらも、事務局・財政局メンバーはもちろんのこと、皆様の支えのおかげで何とか一年間を乗り切れたことだけが唯一の救いです。心の底からありがとうございました。

支えという意味では忘れてならないこともありました。事務局員の三村綾子さんが9月をもって約4年の事務局員生活に幕を引きました。以前からなにかと頼りにしていた場面は多かったのですが、専務理事になってからは依頼する仕事量も増え、また、私が知らない仕事や細かい仕事も嫌な顔せず引き受けてくださいました。そんな彼女の退職は事務局にとってもメンバーにとっても大きな痛手でしたが、この場を借りて改めて感謝の気持ちを述べさせていただきます。約4年間、本当にお疲れ様でした。そしてありがとうございました。

ここまで前向きな言葉が一つもないまま書き終えてしまいそうなので、専務理事という役職のイメージ向上に繋がるよう「専務あるある（前向きバージョン）」で振り返りを締めさせていただきます。

JCの事がどうしたって詳しくなります。理事会が終われば誰よりもホッとします。欠席でも返信が来るだけで感謝の念がこみ上げます。やる事多い＝ミスも増えるので引きずらずに次のミスが出来ます。褒められることよりも怒られることの方が断然多いので、いい感じの怒られ顔が身につきます。そして何より…メンバーへの愛が深まります！

また一つ学びの多き一年、大変ありがとうございました。



一年を振り返って

お祭り委員会委員長 栗 山 務

早いものでお祭り委員長を引き受けてからもう1年が過ぎたのだと時間の早さを感じます。2017年お祭り委員会では二つの公益事業 青少年育成事業職業体験学習と十和田市秋まつり中日「お祭り広場」を担当しました。

正直、どちらの事業も昨年も参加して大変だったのでごく不安でした。

活動を開始するとその不安は吹き飛びました。本当に委員会メンバーそしてメンバー皆様に貴重な意見や協力をしてもらい進めていくことが出来ました。

職業体験は似鳥副委員長に担当になって進めてもらい大変助かりました。委員会メンバーもしっかりとサポートしてくれましたし、事業に向けてメンバーにも色々協力してもらい子供達の笑顔溢れる大変有意義な事業になったと思います。そして十和田市秋まつりは4月の有識者会議から協議会、指導者会議と会議を重ねながら準備を進め、委員会メンバーはもとよりメンバーにも協力をいただき無事開催することが出来ました。当日は朝から晴天で暑い、熱いお祭りになると思いましたがまさかの開会宣言後に雷を伴うゲリラ豪雨。頭の中は真っ白になりましたが小関理事長、杉沢副理事長と協議の上十和田灘子競演会の中止を決めました。練習を重ねていた各団体の子供たちの事を思うと悔しくてなりません。しかしその後は天気も持ち直し、無事その後のスケジュールは細かいミス等あったもののメンバー、そしてOBの蛭沢先輩の的確な状況判断のおかげで無事終了することが出来ました。

今年度お祭り委員会では「和気相愛」をテーマに掲げ、事業の成功をイメージして一年間活動してまいりました。私自身、そして委員会メンバーも「和」を作り、やる「気」を出して「相」手に対し「愛」をもって活動できたのではないかと考えております。

また愛の裏テーマも着々と進行中？

委員長としては杉沢副理事長にいつもどちらが委員長か分からないくらい動いてもらいましたし、委員会メンバーにもいつもご迷惑をかけながらも協力頂きました。小関理事長そして事務局にはいつもお祭り委員会を盛り上げて頂き、拡大交流委員会にはいつも温かい言葉をいただき、総務委員会では太田副理、中野委員長の前年度お祭り最強タッグがいつもアドバイスしてくれました。おかげさまで無事一年間やり遂げることが出来ました。

事業にご協力いただいた関係者の皆様、特別会員の皆様、会議所メンバーの皆様、本当にありがとうございました。



一年を振り返って

総務委員会委員長 中野 隆生

2017年度総務委員会委員長を務めさせて頂きました。私自身2016年度はお祭り委員会の委員長としていろいろな事を経験させて頂きました。正直、総務委員会は地味で面白くなく又楽しい感じではない1年間なるのではないかと思います。少しでもやりがいのある委員会運営・事業にしたいと今年度の取り組みとして少し変えていく事を心がけて行きました。今まで当たり前に行っていた事を変える事は怖いと言われてきましたが自分は臆せずやってきました。その根底には単年度制で60年続いた十和田青年会議所がその年、その年の現役メンバー考えを尊重して事業行っていたので自分の考えも尊重されるべきだと、今思えば自分に都合のいいような考えだったと思います。取り組みとしては新年祝賀会では懇談の時間を多くとる事を試みました。本来であれば来賓紹介や特別会員、来訪JCの紹介をするところではありますがしっかりとした席次表を作る事で割愛しました。諸先輩方々には褒められる事が多かったです。例年と同じ時間帯で行った新年祝賀会にもかかわらず時間が長いと他LOMから言われた事もありました。結果的には自分の作戦がうまくいったと思いました。定時総会ではメンバーのリハーサルの出席率を上げるためにリハーサルの開始時刻を記載し又、委任状の提出率を上げるために往復はがきでの提出など試みた結果、リハーサル参加率、委任状提出率も昨年より改善されました。もちろん出席率も上げるために委員会メンバー全員で声がけをさせて頂きました。今年度いろいろやらせて頂いて自分の考えがうまくいって非常に面白い年になり自分の考えを貫き通した1年間でありました。達成感があり良い経験をさせて頂きました。今年度1年間先輩方々、メンバーの皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。



1年を振り返り

拡大交流委員会委員長 米内山 和正

目の前に迫っている一番の問題は、少子高齢化、人口減少問題です。地域の抱える問題と関連付け、解決に繋がるような事業を行う事で地域貢献を果たしたい。そして、問題解決と地域を盛り上げるには、人と人の繋がりが必要だ！という理由から「より多くの人たちと繋がろう！」とスローガンを掲げ、拡大交流委員会はスタートしました。

3月担当例会「2017異業種名刺交歓会」では、少子高齢化時代に対応した働き方についての講演会と異業種間での名刺交歓会を行い、少子高齢化、人口減少問題が直面している気づきと異業種間の人々との新しい出会いを創出する事が出来ました。

6月担当例会「わんぱく相撲全国大会十和田場所」では、未来の主役である子供たちが輝けるステージ作りを行う事が出来ました。

10月担当例会「20代30代の交流会。十和田の夜を盛り上げNight!」では、同世代の地域の方々が集い、新しい出会いと交流を深め、人々との繋がりを創出する事ができました。

会員拡大では、年間を通じ、会員拡大対象者リストの増大に努める事ができました。そして、3月例会後には5名の入会があり、7月の定時総会で行われた新入会員バッチ伝達での所信表明。「地域の為に頑張りたい！」新入会員の言葉を聞き、胸が熱くなった事を思い出します。

委員会メンバーへの感謝を申し上げれば、経験豊富な中谷副理事長・鎌田委員には、経験値から出る数多くのアドバイスをいただき、事業成功へ導いてもらいました。齊下委員、丸井委員、蛭名委員、江渡委員には、私自身に行動力を与えてくれた存在でありました。私と共に入会が同時期の新山委員、佐々木委員には、事業の毎に支えてもらいました。今年入会された小関委員、起田委員には、入会して間もなく、わからない事が多いでしょうから、わかりやすい資料作りと細やかな連絡は欠かさない事。この行動の基になったのが、新入会員2人の存在でした。千葉副委員長には、メンバー集めを積極的に動いてもらい、委員会の「和」を作ってもらいました。また、副委員長の初事業であった「わんぱく相撲全国大会十和田場所」で魅せた頑張りは「私も頑張ろう！」と多くのメンバーへ感動を共有できた瞬間でした。

1年を振り返り、私自身が得た1番の経験は、メンバーや事業へ関わった数多くの人たちと繋がった事です。この1年の経験が、この先にある地域の問題解決につながる「人材育成」の場であったと間違いなく思いますし、多くの皆さんと共有できた時間は、私にとって貴重な経験となりました。そして、委員会メンバーの存在が、私自身を成長させ、大変有意義な1年とする事ができました。最後に数多くの皆様へ、1年間支えていただきまして誠にありがとうございました。



一年を振り返って

出向理事 石川 隆大

2017年は私にとって非常に苦しい一年となりました。青森ブロックに委員長として出向させて頂きました。本年は東北地区全体で行ったインフラ整備の陳情のための署名活動があり、青森ブロックの担当者としてそれに当たりました。青森県は道路交通網という点で他県と比べて不足しており、今後の経済発展のためにも高規格幹線道路を充実させる必要があります。実際に署名活動をする中で「青森県は移動、輸送にコストがかかりすぎる」という意見を何度も頂きました。企業の誘致を狙う上でも改善すべき点です。

署名の目標数は青森県内で約160000名分。実際に九州地方での署名活動が成功し、道路を通す事ができた実績からはじき出された数字でした。県内の青年会議所メンバーの総数は400名強でしたから、青年会議所がムーブメントを起こすために必要な数字としては50%として1人あたり200名の署名を頂く必要がありました。

結果としては、目標数には遠く及ばずというところでした。県内8LOMを回ってお願いをし、自分がまず背中を見せようと必死で署名を集め、力を尽くした上で、到達は叶いませんでした。思い知らされたのは「青年会議所を動かす力の不足」でした。これまで先輩方とお話させて頂く機会が何度もあった中で、時折話題に出てきた『会議での強さ』という言葉がどういふものなのか、しっかりと自分に落とし込む事ができていなかったのだなと感じています。先輩の方々が沢山の道標をくださるのに、自分が失敗してみないとそれを理解することが出来ないという、相も変わらずの自分の要領の悪さに辟易します。

私はまだ青年会議所のことも、青森のことも、十和田市のことですら知識が深まっておらず、そこをしっかりと学んでいかなければならないのだと実感しました。

私も2018年いっぱい卒業となります。身近にいる十和田のメンバーから多くの事を学んでいきたいと思います。



一年を振り返って

出向理事 似鳥 友理

JCへ入会して早や2年。新米の私がお祭り委員会副委員長、青森ブロックへの出向と理事を務めさせていただきました。

お祭り委員会では、大きな事業が二つ有ります。

1つ目の事業は青少年育成事業でもある職業体験学習です。この事業を初めて担当させていただく事となり不安ばかりでしたが、お祭り委員会メンバー全員が、不慣れな私に力を貸して下さり、5月の事業の準備を新年早々の1月よりスタートする事が出来ました。開催に向け協力企業様の検討や必要金額の見積もり、実施会場の検討、そして議案書作成等やらなければならない事が山積みでしたが、お祭り委員会メンバー全員一丸となってサポートして下さい、夜遅くまでの打ち合わせ等皆様の協力のお蔭で、開催成功に向けて準備する事が出来ました。私は将来を担う子供達に、職業体験を通して、『将来の夢を“イメージ and チャレンジ”するその一歩としてのお手伝いができたら』という気持ちで準備に取り組みました。ご協力下さいました企業の皆様、お祭り委員会のメンバー、そしてロム全メンバーに支えられて、5月の職業体験を無事終える事が出来ました。当日の子供達の最高の笑顔と、『将来の夢の数が増えました』『今回教えてくださった人たちのような大人になりたいです』と書いてある感想文を見た時は涙が込み上げてきました。この事業を担当させていただき本当に良い経験をさせていただいたと有難く思っております。

2つ目の事業は、十和田市秋祭り中日「お祭り広場」が有ります。私は、十和田囃子競演会を担当させていただきましたが、今年は開始直前に突然の豪雨となり、今年、屋根が無い相撲場では開催が困難となり、競演会を中止せざるを得ない結果となってしまいました。雨天時の別会場対策が出来ていなかった事に悔いが残ると共に今後の課題として、1年前から雨天時の会場等の準備として引継ぎしたいと思っています。何より準備してきた町内会の皆様や、一生懸命練習してきた子供達に申し訳なく反省しております。

今年一年、青森ブロック出向や沢山のJC活動を経験させていただき、実り多き一年となる事が出来ました。栗山委員長をはじめ、杉沢副理事長や、お祭り委員の皆様方には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。OBの皆様やLOMメンバー多くの方々、“人”に支えられて、活動する事が出来たこの2017年は、私にとって貴重な一年となりました。

小関理事長、そして沢山の皆様方に感謝申し上げます。本当に有難うございました。